

もっと日本を。もっと世界へ。

 國學院大學

法学部

Faculty of Law

令和7(2025)年度 ガイドブック



KOKUGAKUIN UNIVERSITY

Faculty of Law





法学部長挨拶

法学部とは、何を学ぶところなのでしょうか？

「法律や政治についての知識に決まっているじゃないか」と思うかも知れません。実際、法学部には、数多くの法律や政治についての講義があり、さまざまな法律の条文や解釈、裁判所の判例、いろいろな国の政治や政策、歴史について学ぶことができます。しかし、よく考えてみると、そうして学んだ知識をそのまま使うことができる仕事、例えば法律職や公務員になるのは、法学部の学生のごく一部です。それでは、それ以外の仕事に就く人にとって、法学部での学びは無意味なののでしょうか？

法律や政治の学びの中心にあるのは、法律を「解釈」して複雑な現実に応用する方法や、対立する意見をまとめ上げて「政治的決定」を行う方法です。この「解釈」や「政治的決定」は、現実の対立の解決のために妥当な判断を下し、その判断の妥当性を他の人に説得的な形で示すことから成り立っています。つまり、法学部で学ぶのは、適切な結論を導く判断力とそれを説得的に説明し納得してもらう技法なのです。

私たちの世界は、考え方や価値観の異なる異質な「他者」から成り立っています。だから、現実が複雑になったり、意見が対立したりするのは必然です。そして、価値観の多様化と個人化が進行する現代では、こうした他者との異質性を理解した上で共存する方法を思考する能力は、ますます重要になりつつあります。法学部で身につけるのは、まさにこうした能力なのです。

このように考えてみると、法学部での学びは、おそらくあらゆる職業の人にとって必要なものであり、さらにいえば、仕事以外のさまざまな人間関係を作り上げていく上でも重要なものであることがわかつてと思います。そして、法律や政治を学ぶ過程で、自分とはまったく違う考え方や価値観を持つ人がいることを知り、その人たちと共存する方法を考えることによって、この社会の中でみなさんの立場や果たすべき役割も、次第にわかってくるはずです。

このガイドブックには、このような考え方の下、私たち國學院大學法学部が用意した特色あるカリキュラムが詳しく紹介されています。今もっとも求められている能力を身につけて、社会に何かの形で貢献したいと考えているみなさんに、このガイドブックが導きの糸となることを期待しています。

國學院大學法学部長 かりた しんじ
菊田 真司

CONTENTS

法律専門職専攻	02
履修モデル	03
Student Voice	04
法律専攻	06
履修モデル	07
Student Voice	08
政治専攻	10
履修モデル	11
Student Voice	12
座談会	14
学びのサポート	16
卒業後の進路	18
民間企業に就職する	19
公務員・教員を目指す	21
法科大学院・大学院法学研究科に進学する	23
司法試験合格者対談	26
卒業生の進路状況	27
入試制度について	28





自分を鍛え、自らを律する

法律専門職専攻

■法律のプロフェSSIONALを目指す人へ

法律専門職専攻は、将来、法律関係の専門的職業に就くことを志望する人のための専攻です。具体的には、裁判官・検察官・弁護士をはじめ、司法書士・行政書士などの資格職や裁判所書記官・事務官に加えて、国家公務員、地方公務員、民間企業の法務職などを目標にする人を対象としています。

■基礎を固めた後に、演習・展開科目へ

法律専門職専攻は、将来これらの専門的職業に就くことを既に希望していて、大学においてそのための勉強を集中的に進めようとしている人に最適の専攻です。早い段階から法(律)学に関する「基礎からの徹底教育」を行い、「体系的・積み上げ型教育」を施すことによって、基礎から応用の勉強までしっかり取り組むことができます。

■学生と教員の距離が近い「少人数教育」

法律専門職専攻の最大の特徴は、「少人数教育」です。学生と教員の距離が近く、学生と教員の対話を通じて知識を深めていくなど「双方向性」を確保しやすい教育環境が整備されています。



Message

ふくおか ひであき
福岡 英明 教授 (憲法)

日本国憲法は、「個人の尊重」(13条)を究極的な原理とし、個人が尊重される社会を作ることを目指しています。個人が尊重される社会とは、個人が独立した人格として、自らの自律的な決定によって、自分の能力を十全に開花させ、自分の人生を自分が思い描いたように生きることができる社会です。日本国憲法は、このような社会を形成し維持するために、国民主権・民主主義に基づいて公権力を組織し、同時に、公権力の行使に対して、個人の尊重に必要不可欠なものを基本的人権として保障しています。社会において相互に依存し合う諸個人の私利の調整のために、法律が共同利益の観点から規準を定めています。しかし、法律が利害調整に失敗し、人権を不当に侵害することもあります。このとき裁判所が違憲審査権を行使し、そのような法律を排除します。憲法の授業では、このような日本国憲法が考えている「個人の尊重」のためのしくみを学びます。



履修モデル

1年生	導入科目	基礎科目	シチズンシップ科目	共通科目
	基礎演習 民事手続法概論 刑事手続法概論	憲法Ⅰ A/Ⅰ B 刑法総論Ⅰ/Ⅱ 民法・総則 民法・債権各論	法学（日本国憲法） 法と社会参加 政治と社会参加 行政と市民生活 法教育入門	比較法入門 犯罪学入門 政治学概論 国際政治入門 など
2年生	導入科目	基礎科目	展開科目	共通科目
	判例演習	憲法Ⅱ A/Ⅱ B 行政法Ⅰ A/Ⅰ B 刑法各論Ⅰ/Ⅱ 刑事訴訟法Ⅰ A/Ⅰ B 民法・物権 民法・債権総論 会社法Ⅰ A/Ⅰ B 民事訴訟法Ⅰ A/Ⅰ B	商取引法 A/B 知的財産法 法的思考 A/B 現代外国法事情 A/B	犯罪学 A/B 法制史 A/B 法社会学 A/B 国際法の基礎 国家と国際法 外書講読（法律）Ⅰ 行政学 A/B など
3年生 4年生	演習科目	基礎科目	展開科目	共通科目
	憲法応用演習Ⅰ/Ⅱ 刑法応用演習Ⅰ/Ⅱ 民法応用演習Ⅰ/Ⅱ 行政法応用演習Ⅰ/Ⅱ 争点研究演習 臨床法学演習 法教育演習	行政法Ⅱ A/Ⅱ B	民法・親族 民法・相続 金融サービス法 A/B	憲法Ⅲ 刑事訴訟法Ⅱ 少年法 A/B 会社法Ⅱ 民事訴訟法Ⅱ 民事執行・保全法 A/B 倒産法 A/B 労働法 A/B 国際人権・人道法 など

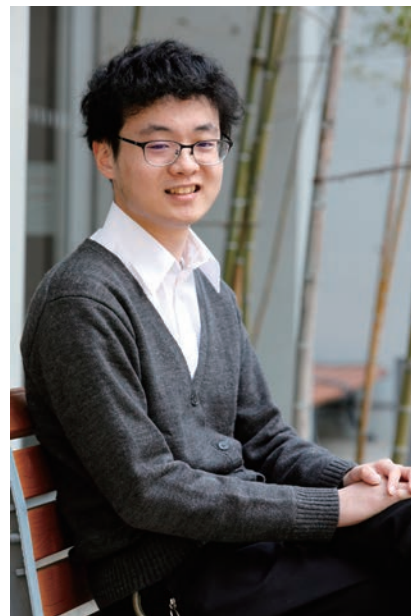
■導入科目では、法律学を勉強する上で欠かせない基礎を学びます。これらの科目で4年間勉強するための基礎力をつけましょう。また、共通科目を受講することで幅広い知識を身に付けることもできます。

■基礎科目では、法律学の重要な基本分野を学びます。卒業するにはそのほとんどを取らなくてはなりませんので、きちんと履修して、法律学の専門知識の基本を身に付けましょう。展開科目では、法律をめぐる新しく複雑な問題を学びます。

■3年生から演習科目が始まります。これまで学んできた知識を活かして、応用力(問題発見能力・問題解決能力)を高めることに努めましょう。演習科目では、判例を分析したり、法律問題について報告したりすることが求められますので、自ら学ぶという習慣を身に付けて、「自分を鍛え、自らを律する」ことが大切です。

I. 先輩への質問

1. 法学部を志望した理由をお聞かせください。
法曹を目指したかったから。
2. 好きな授業科目は何ですか。また、それは何故ですか。
民法。身近な出来事に当てはめて考えることができ楽しいから。
3. 現在、力を入れていることは何ですか。
CAD ソフトで色々な物を製図し、出力すること。
4. キャンパスでお気に入りの場所はどこですか。
一階の食堂脇のベンチ。
5. 國學院大學に入って印象的だったことは何ですか。
建物ごとに内外装ともに個性があり、覚えやすい。
6. 将来の志望・夢について教えてください。
司法試験に合格し、検察官になりたい。



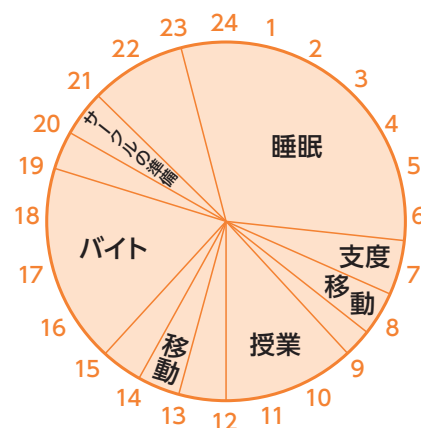
ほり りゅうせい
堀 龍成さん
(法律専門職専攻 2年)

II. 法学部での学び・大学生活

1. 1年次前期の履修スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	コンピュータと情報 I	刑法総論 I	英語 I	民法総則	憲法 IA	世界経済入門
2限		神道と文化	アカデミックリテラシー I	英語 I		
3限	民法総則					
4限				基礎演習		
5限						
6限						

2. 標準的な平日の 24 時間のスケジュールを教えてください。



3. 國學院大學法学部・各専攻での学び・生活について、受験生となる高校生へのメッセージをお願いします。

國學院大學法学部法律専門職専攻では、1年次から必修科目に民法や刑法・憲法などの法律系の科目が入っていることから、「せっかく法学部に入ったのに、最初の1年は法律系の科目にふれられない」ということがないので、1年生の時から法学を学びたい人には適していると思います。中には1年生から法律の勉強にふれることに不安をおぼえる人がいるかもしれませんが、心配の必要はありません。なぜなら、基礎演習などの導入科目で法律科目を勉強するうえで欠かせない基礎を同時に学ぶことができるからです。

また、法律専門職専攻に属している人数は他の大学の学部や専攻学科の一学年の人数と比べるとかなり少なく、60名程度しかいないため、先生方との距離が比較的近く感じられる点や、学生の人数が少ないので、学生間の人間関係が「広く浅く」ということになりにくいところが法律専門職専攻の特徴だと思います。他にも、科目選択の幅が他学部と比べかなり狭いので、科目の選択にあまり悩まずに履修登録ができる点が魅力だと思います。

I. 先輩への質問

1. 法学部を志望した理由をお聞かせください。
万が一法的トラブルに巻き込まれたとき、自分がとるべき行動等を判断する力を身に付けたいと感じたからです。
2. 好きな授業科目は何ですか。また、それは何故ですか。
好きな科目は民法応用演習です。民法判例について班員と意見を交わし合うのは非常に楽しかったです。
3. 現在、力を入れていることは何ですか。
今現在は就職活動に力を入れています。3月から始まる本格的な採用に向けて準備を進めています。
4. キャンパスでお気に入りの場所はどこですか。
図書館がお気に入りです。蔵書が非常に多く、また、落ち着いた雰囲気のある場所のため自習に打って付けです。
5. 國學院大學に入って印象的だったことは何ですか。
他学部であっても、神道や古典文学等の國學院大學ならではの科目を受講することが可能であったことです。
6. 将来の志望・夢について教えてください。
國學院大學で学んだことを活かす為に、各企業にある法務部に勤務することが出来ればと考えています。



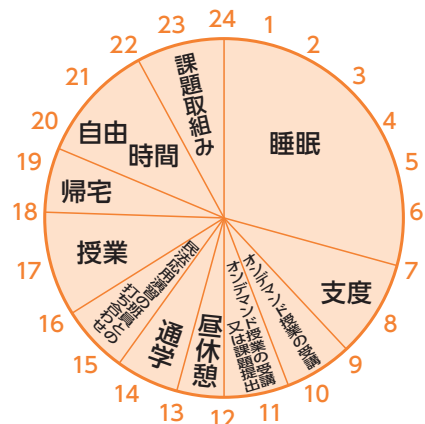
うちだ あおい
内田 葵さん
(法律専門職専攻4年)

II. 法学部での学び・大学生活

1. 3年次前期の履修スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	数的推論 I (オンデマンド授業)	日本文化を知る (時代の軌文から見る一瞥) (オンデマンド授業)		行政法 II A	國學院の学び (旧書籍を讀んだら) (オンデマンド授業)	
2限		東洋史概論 I (オンデマンド授業)		民法・親族	比較芸術学 A (オンデマンド授業)	情報化社会 と市民
3限						
4限						経済法 A (オンデマンド授業)
5限	民法応用 演習	知的財産法				
6限						

2. 標準的な平日の 24 時間のスケジュールを教えてください。



3. 國學院大學法学部・各専攻での学び・生活について、受験生となる高校生へのメッセージをお願いします。

法学という学問は、大学入学後に初めて本格的に学ぶ人が多い学問だと思います。そのため、法学を学ぶことに関して多少の不安を感じている人もいると思います。私も大学に入学するまで法学に触れたことがなく、授業についていくことが出来るか不安に感じることもありましたが、しかし実際に授業に参加してみると、どの先生方も生徒が初学者であることを理解し、分かりやすい様に工夫して授業を進めて下さったので 1つ1つ理解しながら受講することが出来ました。以上の自身の経験から、法学を学ぶことに対し不安に感じている方に対し、必要以上に法学に対して不安を抱く必要がないということをお伝えしたいと思います。

法律専門職専攻の特色は少人数でより専門的に法学を学ぶ点であると思います。法律専門職専攻には 50 名程しか居らず、また、1, 2 年次から受講することが出来る必修科目も多いです。そのため、同じ専攻の人と受講する科目が一緒になることが非常に多かったです。多くの科目を一緒に受講する中で、友人が増えていき非常に幅広い交友関係を築くことが出来ました。他学部、他学科よりも交友関係を築き易いのもこの専攻の特色の 1 つだと思います。

受験が近づくにつれて辛く大変な思いをすることがあるかと思いますが、大学は非常に楽しく、学びの多い場所です。自分の将来に向けて諦めずに行動していただけたらと思います。応援しています。



基本を学び、自分で組み立てる 法律専攻

■基本を学び、幅広い科目から選択する

法律専攻は、法律や政治を学びながら将来の方向性を見つけたいと考えている人に適した専攻です。

法学部を卒業した後の進路は、公務員・教員、民間企業への就職、法科大学院を含む大学院への進学など様々です。そこで、國學院大學法学部は、法律や政治に関心はあるが将来の方向性については思索中の人や、法律専門職以外の分野で活躍することを目指す人のために、法律専攻を用意しました。

法律専攻には、「法律学の基本と応用」コースと「政治と法の基礎」コースの2コースが設けられています。「法律学の基本と応用」コースのカリキュラムは、易しい内容から難しい内容へと段階的に学ぶスモール・

ステップの考え方に基づいています。「政治と法の基礎」コースのカリキュラムは、基礎法学や政治についても幅広く学ぶことができるよう設計されています。

1年生は、「公法入門」「刑事法入門」「民法入門」などの科目から法律の基本を学びはじめるとともに、大学で学ぶことの意義と将来の目標について考えるための「キャリア・プランニング」という科目を履修します。その後、コース毎に設定された特徴的な科目群の中から一定数の科目を修得すれば、それ以外の科目の履修については、将来の方向性を見据えて学生が自分で自由に組み立てることができます。この意味で、法律専攻は、柔軟に履修科目を選択できる専攻です。

●「公法入門」「刑事法入門」「民法入門」とは？

法律専攻では、初学者が1年次後期からはじまる本格的な法学学修にスムーズに取り組むことができるよう準備するための科目として、1年次前期に「公法入門」「刑事法入門」「民法入門」が開講されます。これらの科目の授業は、アクティブ・ラーニング(能動的学習)の諸技法を活用するなどして実施されます。

●「キャリア・プランニング」とは？

法律専攻では、自分の将来の進路・目標について考えてもらうため、1年次に「キャリア・プランニング」を受講します。ここでは、「働くこと」に関心を持った上で、どのような企業があるか？自分の得意分野・苦手分野は何か？他者と協力して働くことができるか？自分を表現できるか？就職に必要な基礎知識・応用能力はあるか？といった内容を学んでいきます。自分にあった仕事を見つけることは、これからの人生を有意義に過ごすためにも重要です。そのための土台をしっかりと築き上げていきます。

■2つのコース

法律学の 基本と応用 コース

法という規範(ルール)は、社会で発生した紛争(トラブル)を処理したり、紛争(トラブル)が生じないように予め諸利益を調整したりする機能を有します。このコースでは、いわゆる六法(憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法)や行政法・国際法などについてひろく学んだうえで、その後は各自の志向に応じて専門性を高めます。これらの学びを通じて、法的知識を活用して問題の本質を捉え、これに論理的解決を与える力を涵養します。

政治と法の 基礎 コース

法というルールは、社会においてトラブルを解決したり、トラブルが生じないように様々な利益を調整するという形で機能します。そして法は、主に国会における政治的な議論を通じて作られ、一人ひとりの国民は、国会などにおける自分たちの代表者を選挙という政治制度を通じて選んでいます。このコースでは、法、政治または社会の現状を把握し、それらのあり方や機能を歴史的な、またはグローバルな観点から分析し、さらにその分析の結果から社会にある問題を発見・解決する能力を涵養します。

履修モデル

	法律学の基本と応用コース	政治と法の基礎コース
1年生	公法入門 刑事法入門 民法入門 キャリア・プランニング	
	憲法ⅠA 民法・総則 民法・債権各論A 刑法各論Ⅰ 刑事手続法概論 民事手続法概論	法と社会参加 政治と社会参加 法教育入門 行政と市民生活 法学(日本国憲法)
2年生	会社法の基礎 国際法の基礎 憲法ⅠB/ⅡA/ⅡB 行政法ⅠA/ⅠB 刑法総論Ⅰ 刑法各論Ⅱ 刑事訴訟法ⅠA/ⅠB 犯罪学A/B 民法・物権A/B 民法・債権総論A/B・民法・債権各論B 民事訴訟法ⅠA/ⅠB 国家と国際法	憲法ⅠA 刑法各論Ⅰ 民法・総則 政治学概論 国際政治入門 政治哲学入門 比較政治入門 地域研究入門 比較法入門 犯罪学入門 日本政治史A/B 西洋政治史A/B 20世紀の政治A/B 国際関係史A/B
	憲法Ⅲ 行政法ⅡA/ⅡB 環境法 行政組織法 地方自治法 刑法総論Ⅱ 少年法A/B 刑事政策A/B 民法・親族 民法・相続 民事訴訟法Ⅱ 民事執行・保全法A/B 倒産法A/B 株式会社法ⅠA/ⅠB/Ⅱ 商取引法A/B 商事判決法A/B 金融サービス法A/B 個人と国際法 国際紛争処理法 国際人権・人道法 国際組織法総論 国際組織法各論 国際私法A/B 国際経済取引法 税法A/B 企業法務 不動産登記法 労働法A/B 社会保障法A/B 経済法A/B 知的財産法A/B 医事法 消費者法 演習	政治学 行政学A/B 国際政治A/B 日本政治思想史A/B 西洋政治思想史A/B 日本外交史A/B アジア政治史A/B 日本の政治A/B メディア論 社会運動論 政治家論 政党論 外書講読Ⅰ 法哲学A/B 外国法A/B 法制史A/B 法社会学A/B 社会学A/B 政治哲学A/B 比較政治A/B 地方自治論A/B 地域研究 政策過程論 選挙論 NPO論 福祉国家論 政治文化論 政治心理学 政治変動論 ジェンダー論 環境政治学 平和研究 外書講読Ⅱ 演習
3年生 4年生		

Message

さこた まきこ 佐古田 真紀子 教授 (民事手続法)

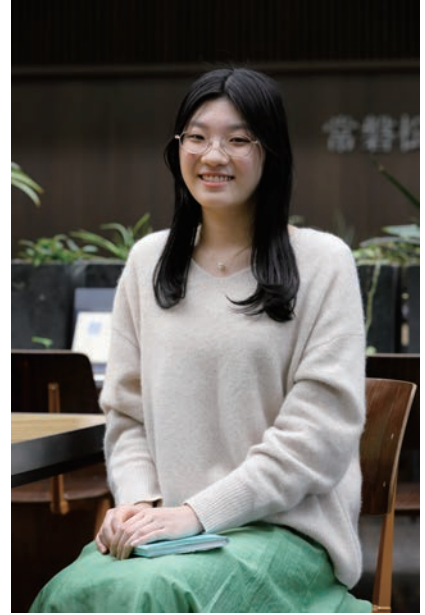


「民事手続法概論」、「民事訴訟法ⅠA/B」、「演習」等を担当しています。民事訴訟法は、民法や商法等の実体法上の権利を実現するための手続を規定する法律です。訴訟制度は学生のみなさんに馴染みが薄いため、1年生の「民事手続法概論」ではロールプレイや証人尋問の寸劇などを取り入れ、訴訟の仕組みがイメージしやすくなるように工夫しています。その後、2年生の「民事訴訟法ⅠA/B」で本格的な理論を学びます。

3年生から始まる「演習」では、全国から15大学が参加する合同ゼミを目標に活動を行っています。ゼミ生が主体となり、判例や論文を読み込んで立論し、合同ゼミ当日に他大学のゼミと討論を行うのですが、その過程で、学生たちは、いかに立論して相手を説得するかを、楽しく、真剣に議論します。ゼミ活動を通して学生達は大きく成長し、自信と達成感を得て就活に臨みます。

I. 先輩への質問

1. 法学部を志望した理由をお聞かせください。
歴史上の法律や現代社会の諸問題について法学の観点から学ぶことで、多角的な視野を身につけたいと思ったからです。
2. 好きな授業科目は何ですか。また、それは何故ですか。
「法史学入門」です。大宝律令や御成敗式目といった法典から法律の歴史や当時の思想を学ぶのが新鮮だったからです。
3. 現在、力を入れていることは何ですか。
TOEIC、HSK、簿記などの資格取得に向けた勉強です。
4. キャンパスでお気に入りの場所はどこですか。
AMC 1階や6号館にあるゆったりとしつつも集中して自習ができる場所です。
5. 國學院大學に入って印象的だったことは何ですか。
歴史ある大学ですが教室や設備が新しく、また、コンパクトなキャンパスが大学生生活を送る上で便利なことです。
6. 将来の志望・夢について教えてください。
まだしっかりと定まってはいませんが、法律の知識を活かしながら民間企業や法律事務所で働きたいと考えています。



あまない ちひろ
天内 千尋さん
(法律専攻2年)

II. 法学部での学び・大学生活

1. 1年次前期の履修スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	民法入門	キャリア プランニング		刑法入門	公法入門	英語 I (RW)
2限	中国古典の 世界		英語 I (LS)			情報化社会 と文化
3限						
4限		神道と文化		基礎演習		
5限						
6限						

2. 標準的な平日の24時間のスケジュールを教えてください。



3. 國學院大學法学部・各専攻での学び・生活について、受験生となる高校生へのメッセージをお願いします。

私は、法律の内容に特化せず、法律学から発展して政治や歴史など幅広い分野を学ぶことから法律専攻に進学しました。法律専攻の魅力の1つは、必修科目が少ないため、1年次から自身の興味関心に合わせて科目を選択できることにあります。また、1年次前期に入門科目を履修することで、条文の構造や脚注のルールなど法律学を学ぶために不可欠なスキルを身につけることができ、高校までの学習から大学の法学部での学修へスムーズに移行することができました。

法律を学び始めて驚いたことは、条文や論点の解釈によって様々な説が対立しているということです。例えば、住居侵入罪において「侵入」という言葉が指す状況も「どのような権利・利益を保護することを目的としているのか」という論点の解釈により異なります。「法学」というと、条文に書いてある内容を細かく学びイメージでしたが、むしろ条文にはつきりと書かれていないことに焦点を当て、そのメリットやデメリットを踏まえながらより良い解釈を考える学問であり、延いてはより良い社会を考える学問であると感じます。

法の世界は知れば知るほどおもしろく、また、法律がいかに身近なものであるかを実感する日々です。これからも広く深く積極的に学び続けていきたいと思っています。

I. 先輩への質問

1. 法学部を志望した理由をお聞かせください。
高校生の時に一番の興味があったのが、政治経済でした。その中でも憲法に関心を持ったため法学部を志しました。
2. 好きな授業科目は何ですか。また、それは何故ですか。
少年法です。少年法ゼミに所属していることもあり、少年法の解釈や判例に興味があるからです。
3. 現在、力を入れていることは何ですか。
就職活動です。3月から本格化する就職活動に向けて、情報を整理したりエントリーシートの作成を行ったりしています。
4. キャンパスでお気に入りの場所はどこですか。
AMCの1階です。友人と集まって課題に取り組んだり、おしゃべりをしたりしています。
5. 國學院大學に入って印象的だったことは何ですか。
他学部への履修も履修できることが印象的でした。副専攻で他に関心のある分野についても学びを深めることができます。
6. 将来の志望・夢について教えてください。
國學院大學で学んだことを活かして縁の下での力持ちとして、世の中の役に立ちたいと考えています。



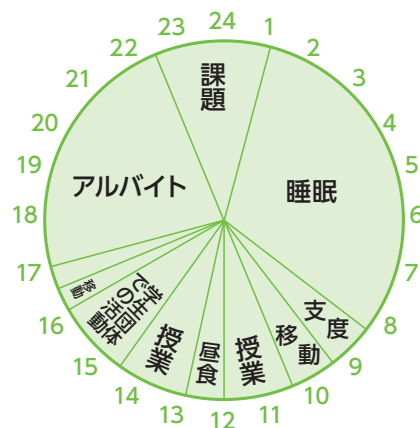
しよかつ せい あ
諸葛 清愛さん
(法律専攻4年)

II. 法学部での学び・大学生活

1. 3年次前期の履修スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限		博物館 資料論				
2限				刑事政策 A		
3限	刑法総論Ⅱ			ポルトガル 語		
4限	博物館 経営論					
5限	少年法 A				演習	
6限						

2. 標準的な平日の24時間のスケジュールを教えてください。



3. 國學院大學法学部・各専攻での学び・生活について、受験生となる高校生へのメッセージをお願いします。

國學院大學法学部法律学科法律専攻の特徴として、履修の自由度が高く、柔軟に学べることが挙げられます。1年次には、入門科目を通して、基礎的な法律の知識を学んでいきます。その後、基本科目を取得すると、将来の方向性や自身の意欲、関心に応じて履修を組むことが可能です。入学前は初めて学ぶ法律の学習についていけるのか不安がありました。しかし、フェローという個別指導の教員に相談する事で悩みは解消されました。また、キャリア・プランニングの授業で将来の進路、目標について考えるため、早い段階から卒業後の方向性を考える機会も提供されています。

法律学科では、正解のない現代社会で問題解決できる力を養うことを目的としたカリキュラムが組まれており、ゼミもこれに含まれます。私は、少年法ゼミに所属していますが、毎授業、議題に対してグループディスカッションを通して意見を出し合っています。自分とは異なる意見を聞き、多様な価値観を知れるのも國學院大學で得られる学びだと考えます。このように、法律専攻では、自分の関心に応じて柔軟に法学と向き合うことができます。この特性を活かして、皆さんも國學院大學で法学の知識を深めていきませんか。



自分で動く、自分で論じる

政治専攻

政治専攻は、「政治を勉強したい」という明確な目標を持った人のための専攻です。本学の政治専攻の特色を3つ挙げるとすれば、「歴史」・「現場」・「討論」ということになります。

■「歴史」を知る

まずは「歴史」です。現代の政治を理解するにも、歴史的な視点から分析することが重要です。日本政治史・西洋政治史・国際関係史などの歴史系科目は特に1・2年次に受講することになります。

■「現場」を見る

次に「現場」です。政治を理解するには、「政治の現場」を知ること大切です。そのためにインターンシップやフィールドワークの形で体験してもらう科目を設けていますし、オムニバス・セミナーなどで「現場」で活動する人たちの話を聞くこともできます。

■2つのコース

分析と応用 コース

将来的に政治家やジャーナリスト、NPO職員といった形で直接政治と関わりを持ちたいという人向けのコースです。「歴史」などの基礎知識を得た上で、「現場」の経験を生かし、培った「討論」の能力を活用してください。特に「政治インターンシップ」が重要です。

理論と歴史 コース

政治の現場よりも理論を深く学びたいという人向けのコースです。進路としては、政治家に限らず、一般企業や公務員・教員として働くことも想定されています。

■「討論」で磨く

最後は「討論」です。政治というものは他者との討論で展開してゆくものです。そのために、政治専攻では1年生全員が「基礎演習A・B」を受講します。また、2年次以降は演習を2つまで履修できるようにしています。さらに、「討論」の教育を充実させるために、政治専攻は「少人数の学生と多人数の専任教員」で教育を行います。



Message

ふじしま 藤嶋 亮 教授 (比較政治)

政治学は捉えどころのない学問です。それは人間の考えることや行動、感情に捉えどころがないことの反映と見ることもできますが、そこに何ともいえない面白さがあります。政治学を学ぶ意義の一つは、社会、そして人間に対する多面的な見方を身につけることだといえるでしょう（それは社会における問題解決のための手ごかり・技法ともなります）。

しかし多面的な見方というもの、そうしようと思ったからといって、すぐにできるものではありません。さまざまな国や地域の実情を知り、先人たちの知的格闘に触れ、歴史の重みを理解する、あるいは現場での体験などを通じて、初めて視野(地平)が少し広がったと実感できるはず。政治専攻では、そのような機会をたくさん用意しています。多様な意見に触れ、議論を戦わせる、あるいは一つの問題についてとことん考え抜く、大学時代ならではの学びの場を、一緒につくっていきましょう。



履修モデル

	分析と応用コース	理論と歴史コース
1年生	学びの場 法と社会参加 政治と社会参加 行政と市民生活など キャリア科目 キャリア・プランニング 入門科目 国際政治入門 政治哲学入門 比較政治入門 政治学概論 基礎科目 現代社会論 現代の政治 基礎演習A/B 展開科目 <実習>政治インターンシップ(長期・短期) フィールドワーク <歴史系>日本政治史A/B 西洋政治史A/B 20世紀の政治A/B 国際関係史A/B 専攻関連科目 <法律系>憲法I A/I B <経済系>経済理論入門	
2年生	基礎科目 政治学 演習科目 演習I 展開科目 オムニバス・セミナー <分析系>メディア論 社会運動論 政治家論 <理論系>日本の政治A/B 国際政治A/B 行政学A/B <歴史系>日本外交史A/B アジア政治史A/B 専攻関連科目 <法律系>憲法II A/II B 行政法I A/I B 国家と国際法 <経済系>ミクロ経済学 マクロ経済学 など	展開科目 オムニバス・セミナー <理論系>日本の政治A/B 国際政治A/B 行政学A/B 日本政治思想史A/B 西洋政治思想史A/B <歴史系>日本外交史A/B アジア政治史A/B 専攻関連科目 <法律系>憲法II A/II B 行政法I A/I B 国家と国際法 <経済系>ミクロ経済学 マクロ経済学 など
3年生 4年生	演習科目 演習II 展開科目 <実習>スタディー・ペーパー <分析系>政策過程論 選挙論 NPO論 ジェンダー論 環境政治学 平和研究 地域研究演習 <理論系>地方自治論A/B 政治哲学A/B 社会学A/B 比較政治A/B 専攻関連科目 <法律系>行政法II A/II B 国際紛争処理法 国際人権・人道法 <経済系>社会保障論 など	<実習>スタディー・ペーパー <理論系>地方自治論A/B 政治哲学A/B 社会学A/B 比較政治A/B <分析系>福祉国家論 政治文化論 政治心理学 政治変動論 地域研究 地域研究演習 専攻関連科目 <法律系>行政法II A/II B 個人と国際法 国際人権・人道法 <経済系>社会保障論 など

●政治インターンシップとは？

政治専攻では展開科目の一つとして「政治インターンシップ(長期・短期)」が開講されています。政治家の事務所・官公庁・マスコミ・NPO等、政治と行政に関係するインターンシップ先で実習を行い、レポートを執筆すると単位が認定されます。実習時間は「長期」については160時間、「短期」については80時間となります。政治や行政の現場を知る貴重な機会ですので、積極的に参加しましょう。

I. 先輩への質問

1. 法学部を志望した理由をお聞かせください。
高校在学中に国会議員事務所でインターンシップをした際、政策を作るには法学の知識が不可欠と感じたからです。
2. 好きな授業科目は何ですか。また、それは何故ですか。
政治学概論（後期履修）です。担当の羅先生がマンツーマンでレポート指導をして下さり、卒業論文の練習になったからです。
3. 現在、力を入れていることは何ですか。
資格勉強です。徐々に受験する資格試験のレベルを上げ、最終的に弁護士になりたいと考えています。
4. キャンパスでお気に入りの場所はどこですか。
5号館の屋上です。休憩時間に友人と雑談などをしながら寛いでいます。ただ、冬は寒いのでオススメできません（笑）。
5. 國學院大學に入って印象的だったことは何ですか。
先生と授業で議論でき、気になった点について研究室に気軽に話しに行けるなど、教員と学生の距離が近いことです。
6. 将来の志望・夢について教えてください。
国会議員になりたいです。その前に、弁護士として企業等のロビー活動に携わり、政治スキルを習得したいと考えています。



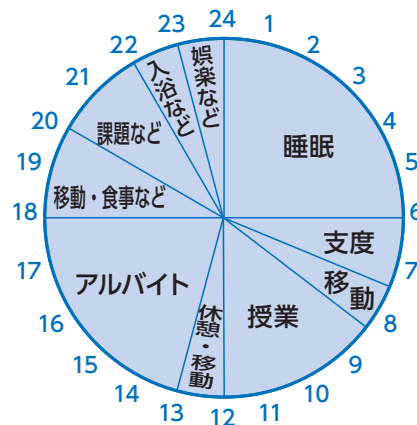
ちの せいしゅう
茅野 静秀さん
(政治専攻2年)

II. 法学部での学び・大学生活

1. 1年次前期の履修スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限		神道と文化		英語 I	倫理学	
2限		キャリアプランニング	英語 I	基礎演習 A	現代社会論	
3限					20世紀の政治 A	
4限				国際関係史		
5限		法学 (日本国憲法)			データリテラシー	
6限						

2. 標準的な平日の24時間のスケジュールを教えてください。



3. 國學院大學法学部・各専攻での学び・生活について、受験生となる高校生へのメッセージをお願いします。

國學院大學の政治専攻は、政治学部や法学部政治学科ではなく、「法学部法律学科」の中に在ります。そのため、他大と比較して、現状の法律や制度をベースに政治の議論ができる点が差別化になっていると考えます。それによって政治専攻では、感情的ではなく、事実に基づいた客観的な議論が行われています。また、國學院大學ではインターンシップで現場を知ったうえで、学生自身も議論を行うなどのカリキュラムが組まれています。仮に分からない点や追加で学習したい点があったとしても、教員から一対一で指導を受けることができるので、心配ありません。つまり、学生が主体的に学べ、教員と双方向性の学問ができる、基本に忠実な教育環境なのです。

受験生となる高校生の皆さんには、政治に対して、過激思想、お金の汚い、難しいなど、少なからずマイナスイメージを持っているかもしれません。しかしながら、政治専攻では、政治に全く関係がない人であっても、安心して段階的に学べるカリキュラムが組まれています。したがって、現時点で政治が良いイメージがなくても、「社会に問題がある」、「社会を変えたい」などの漠然とした感覚があるならば、ぜひ政治専攻で学んでみてはいかがでしょうか。

I. 先輩への質問

1. 法学部を志望した理由をお聞かせください。
当時、国際問題となっていた香港問題で同年代の人たちが政治について議論している姿を見て国際政治に興味を持ったことがきっかけです。
2. 好きな授業科目は何ですか。また、それは何故ですか。
地域研究の授業です。その地域の政治や文化を学べただけでなく、自分で決めたテーマでプレゼンテーションを行うのもいい経験になりました。
3. 現在、力を入れていることは何ですか。
法学部の授業と教職課程の両立です。
4. キャンパスでお気に入りの場所はどこですか。
学食も美味しくて好きですが、私はよく体育館前のベンチで課題に取り組んでいてその場所もお気に入りです。
5. 國學院大學に入って印象的だったことは何ですか。
ひとりひとりが興味のある学問に対して探究しているので、学生同士の交流で新たな学びがあって面白いです。
6. 将来の志望・夢について教えてください。
國學院大學で学んだことを活かして、社会に貢献できる人間になりたいです。



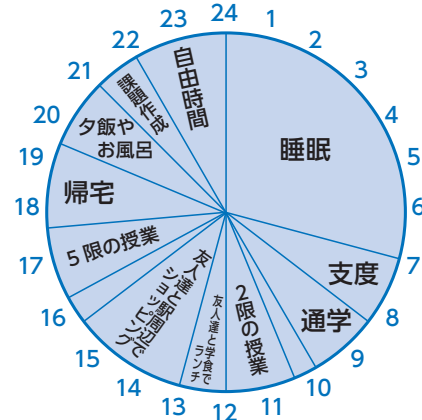
いしい まゆ
石井 麻結さん
(政治専攻4年)

II. 法学部での学び・大学生活

1. 3年次前期の履修スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限					倫理学 A	
2限		スポーツ実技 A			政治変動論	
3限	教育の方法と技術			地理歴史科教育法 I		
4限				オムニバスセミナー (政治・社会の現場)		
5限	演習 II	教育の原理				
6限	総合的な学習の時間及び特別活動の理論と方法					

2. 標準的な平日の24時間のスケジュールを教えてください。



3. 國學院大學法学部・各専攻での学び・生活について、受験生となる高校生へのメッセージをお願いします。

私が在籍している政治専攻では、専門的な知識を身に着けるだけでなく、演習や講義を通して討論に参加する機会があります。1年次から演習の準備として基礎演習があり、レジュメの作成や討論の練習を行うのですが、その経験は今後の大学生活において非常に役立ったと思います。また、オムニバス・セミナーやフィールドワークを通して実際に政治の現場に触れることもできますし、先生方が親身に指導して下さるので政治にあまり詳しくない人でも大学生活の4年間で理解を深めることができます。

國學院大學では、自分の専攻科目はもちろん、経済学や史学といった他学部の授業も選択して受講できることが魅力的です。実際に私も西洋史学や芸術学などの科目を受講したことで学びの幅が広がりました。大学生活では、大学がスポーツに力を入れているので陸上競技部や野球部などの応援も楽しみの1つです。その他にも数多くの部活やサークルがあるので学生同士の交流も盛んです。みなさんもぜひ國學院大學法学部で私たちと一緒に学びましょう！



法律専門職専攻／法律専攻／政治専攻学生座談会

「各専攻それぞれに特色があり、自分に合った学びの機会が得られます」

図書館に惹かれて志望 勉強しやすい施設・環境が整っています

山下先生：3専攻合同座談会を始めます。まず初めに、國學院大學を選んだ理由とご自身の専攻を選んだ理由を教えてください。

石井さん：社会がますますグローバル化していく中で、日本の文化を学んでみたいという気持ちがあったので、神道がシンボルになっている國學院大學に興味を持ちました。法律専門職専攻を選んだのは、少人数制なところと1・2年次で基礎をしっかりと学べるところに魅力を感じたからです。

高佐さん：父が國學院大學の卒業生なので、見学に行ってみようと思ったのがきっかけです。特に図書館に惹かれ、ここで勉強をしたいと思いました。法律専攻を選んだのは、パンフレットに載っていた先輩に憧れたのが一番の理由です。

大久保さん：私が國學院大學を受験しようと思ったきっかけの一つは、受験制度です。英語が苦手な私でも受験しやすい、得意科目2つで受験できる試験形式がありました。また、比較的小規模な大学で個性を活かせそうな雰囲気にも魅力を感じました。両親が公務員のため政治の世界に興味を持ち、政治専攻を希望しました。

政治活動を体験できる機会もあります

山下先生：ご自身の専攻の特徴はどのようなところにあると思いますか。

石井さん：法律専門職専攻の最大の特徴は少人数制で、一学年50名程です。先生に質問しやすく、友人と協力して課題を乗り越えることができます。また、1・2年次で六法の科目を一通り学べるのも特徴だと思います。

高佐さん：法律専攻は他の専攻と比べて人数が多いので、積極的にコミュニケーションを取るようになっています。法律に重点を置いたコースと政治に重点を置いたコースの2つがあり、自分の興味に合ったコースを選択できます。



たかさ あい
高佐 亜依さん (法律専攻)

大久保さん：政治専攻はフィールドワークと政治インターンシップがあるのが大きな特徴です。フィールドワークでは、北海道へ行き町役場の方や福祉施設に勤めている方にお話を聞きました。政治インターンシップでは、地方議会議員の元で政治活動を体験しました。長くて2ヶ月くらいの期間をかけてしっかりと学び、レポートを書く授業です。

授業を通して自分から学ぶ意識が生まれました

高佐さん：法律専攻は1年次の後期と3年次からいわゆるゼミと呼ばれる演習授業があり、受講するかしないかも含めて自由に選べるのですが、他の専攻はどうですか。

石井さん：法律専門職専攻では、1年次の前期から基礎演習が必修科目になっています。2年次には判例演習、3年次に応用演習があります。応用演習では、民法、憲法、刑法、会社法等の中から興味のある分野を選択できます。私は民法応用演習を選んだのですが、グループに分かれて、判例解説を作成したレジュメを用いて発表する授業でした。



おおくぼのりあき
大久保 教明さん (政治専攻)

※3年次卒業制度を利用して2023年度卒業

大久保さん：政治専攻も法律専門職専攻と同じように1年次から基礎演習があります。基礎演習AとBがあり、Aでは政治的な課題に対して自分の意見を述べる力を養い、Bではそれを書いて表現する力を養います。2年次になるとテーマ別のゼミに所属し、3年次までが必修で4年次は自由に受講できます。

高佐さん：私は憲法のゼミに入っていたのですが、本や判例を読んで疑問点や意見を発表するというのをやっていました。

山下先生：演習のお話を聞かせていただきましたが、他に印象に残っている授業はありますか。

石井さん：私は中川孝博先生の刑事訴訟法の授業がとても印象に残っています。この授業は通常の座学ではなく、アクティブ・ラーニング形式の授業でした。教科書を読んだり動画を見たりして作ったワークシートを見せ合ったり話し合うという授業だったので、受け身ではなく自分から学ぶ意識が生まれた授業でした。

大久保さん：一番印象に残っているのは、オムニバスセミナーという授業です。議員・公務員・写真家・医者といった様々な職業の方が毎週入れ替わりでお話をしてくださる授業でした。新しい視点を知ることによって、世界が広がったと思います。

公務員試験サポートコースや3年次卒業制度を活用できます

山下先生：将来についてはどのように考えていますか。

石井さん：法科大学院への進学に向けて受験の準備をしています。私が高校3年生になる年にコロナ禍になったのですが、フェイクニュースや憶測が出回るようになり、社会についてもっと知る必要があると思うようになりました。それが法学部を志望したきっかけになったのですが、学ぶからには極めたいと思い、法曹の道を志すようになりました。法律専門職専攻には同じように法曹を志望する学生が多く、話しているうちに気持ちが強くなりました。

高佐さん：私は公務員試験に向けて勉強をしています。法律専攻のカリキュラムとは別に、PCAPという公務員として求められる知識を学ぶコースを受講しています。PCAPの授業も卒業単位に含まれますし、他の授業の復習として活かすこともできています。

大久保さん：國學院大学には3年次卒業制度があるので、私はこの制度を活用して卒業します。将来はIT関連の企業に就職したいと考えており、就職活動を行っています。

授業以外にも様々な経験をして、楽しい学生生活を送っています

山下先生：授業以外の学生生活はいかがですか。

石井さん：國學院大学では法律研究会というサークルに入っています。また、外部のオーケストラのサークルにも入っており、アルバイトもしています。アルバイトの日・サークルの日・勉強をしっかりする日とメリハリを付けています。忙しくはありますが、工夫して充実した生活を送っています。

大久保さん：私は障がい者の方と共に運営していく喫茶店でのボランティアと、政治家の活動をお手伝いするボランティアをしています。履修を工夫して大学にいる時間を増やし、空き時間に大学内で勉強に集中するようにしています。

高佐さん：私もアルバイトをしつつ、弓道サークルに入っています。サークルにも同じ専攻の友達がいるので、サークル活動までの空き時間に一緒に課題をして過ごすこともあります。

山下先生：皆さん大学にいる間に集中して勉強するなどの工夫をし、授業以外の学生生活も楽しんでいるんですね。

法学部の学びは日常の出来事への興味から

山下先生：最後にこのパンフレットを見ている受験生へメッセージをお願いします。

石井さん：日常のささいな出来事や、ニュースに興味を持って疑問を抱けるような方は法学部に向いていると思います。大学の勉強は受動的に先生の話を受けているだけだと面白くありません。自分から積極的に先生に質問をしたり、友人と意見をぶつけたりするときと楽しく勉強できると思います。

高佐さん：法律を学ぶことで社会がどのように動いているかを知ることができたので、私はこの学部に入って良かったと思っています。将来何をしたいかまだわからないという方もいるかもしれませんが、法律専攻ではコース分けもあり、そういった方でも勉強しやすい環境にあります。

大久保さん：冒頭でお話しましたが、自分に合った試験形式を選ぶのも大切なことの一つだと思います。得意な分野を伸ばすことと、自分から先生にアプローチすることを高校生のうちから身に付けることをお勧めします。政治専攻に関しては、考えを述べるのが何よりも大切なので、ニュース等を見て日頃から自分の考えを持つことが大切だと思います。



いしい よしみ
石井 美海さん (法律専門職専攻)

法学部の専任教員

公法

あま 甘利	こう 航司	刑法／過失犯の共同正犯、社会内刑罰
うえ 植村	かつ 勝慶	憲法／イギリス憲法と市民の自由
お 小川	りょう 亮	憲法／解釈方法論、司法審査の在り方
かわ 川合	とし 敏樹	行政法／環境保護に関する行政法理論の研究
ささげ 捧	つよし 剛	外国法、英米法／イギリスの司法制度の歴史的展開
たか 高内	ひさ 寿夫	刑事訴訟法・少年法／被告人、少年および被害者の人権
たか 高橋	のぶ 信行	行政法／執政作用
なか 中川	たか 孝博	刑事訴訟法／刑事裁判における事実認定の適正化
なが 長又	たか 高夫	日本法制史／法典編纂史・法思想史
ひら 平地	しゅう 秀哉	憲法／アメリカ憲法と民主政論
ふく 福岡	ひで 英明	憲法／フランス議会制
みや 宮内	ひこ 靖彦	国際法・国際組織法／分権社会における国際社会の基本的利益の強制的実現
やす 安田	めく 恵美	刑事政策／犯罪をした人々の「社会復帰」に関する日仏比較研究
やま 山下	ひろ 裕樹	刑法／不作為犯論の諸問題

私法

いち 一木	たか 孝之	民法／契約法の諸問題
おお 大江	つよし 毅	民事訴訟法／共有物分割手続に関する史的研究
おか 岡田	やす 康夫	民法／土地やマンションなどの不動産の所有をめぐる法律関係
かど 門広	のり 乃里子	民法／家族法
かわ 川村	なお 尚子	民法／債権法
さ 佐古	まき 真紀子	民事訴訟法／私法上の権利の早期実現に関する研究
さ 佐藤	ひで 秀勝	民法／契約法（契約当事者の地位を巡る諸問題の研究）
すず 鈴木	たつ 達次	商法／保険法
なか 中曾	れい 玲子	商法／会社法・金融商品取引法・商品取引所法
ひめ 姫野	がく 学郎	民法／財産法
ひろ 廣瀬	み 美佳	民法／医事法／環境法
もと 本久	ひさ 洋一	労働法／企業組織再編と労働関係、労使関係法の再構成、労働法の歴史
もり 森川	たかし 隆	商法／企業取引法

政治

いな 稲垣	ひろし 浩	行政学／地方自治論
お 小原	かおる 薫	日本政治思想史／中江兆民の政治思想
かり 苑田	しん 真司	西洋政治思想史、政治理論／19世紀後半以降のアメリカ政治思想の研究
さか 坂本	かず 一登	日本政治史／明治国家形成史の研究
な 羅	しげ 芝賢	行政学／近代国家の基盤構造、科学技術と政治
ふじ 藤嶋	りょう 亮	比較政治／バルカン諸国の政治変動
みや 宮下	ひろ 大志	ヨーロッパ政治史・政治学／ワイマール共和国以降のドイツ政治を中心に研究

■法学部資料室

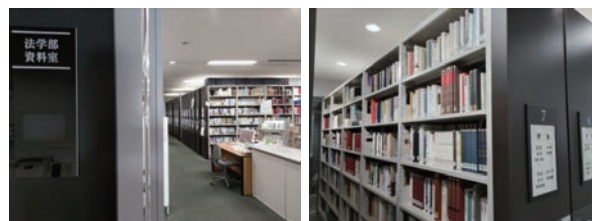
160万冊の蔵書を誇る國學院大学の図書館には、大学での学修・教育・研究に必要な資料が幅広く収められています。

これらの膨大な資料を活用して、法学部で学んでいく上で、他学部ではあまり使わない判例や判例評釈、法令、議会の議事録等を調べたり、学術書や専門的な雑誌論文を探したりすることが必要となります。そのような資料の閲覧・貸出ができるのが、「法学部資料室」です。

また、オンライン・データベースを含めた、資料収集の手助けも行っています。

資料に関わること以外にも、講義資料の配布や課題の受取・返却、教員への質問等の仲介も行っており、日中は専門の職員が、授業時の平日夜は大学院生のチューターが対応しています。

法学部生に必要な情報を手に入れることができる「法学部資料室」を積極的に活用しましょう。



■フェロー制度

学生みんなのそばに、フェローはいます。

法学部の授業は、基礎演習などのように少人数で行う授業もありますが、受講生が100人を超える授業もあります。こうした大人数の授業では、法学や政治学の授業は大学に入って初めて受講することが多いことから、内容が十分に理解できないままとなっているということが少なくありません。また、大学での勉強では、自分にとって「わからない」ことが何なのかわからない、といった場合もよくあります。さらに、1年次や2年次で学ぶ基礎的な知識や考え方に対する理解がおろそかになってしまうと、3年次や4年次での応用科目の内容が十分理解できず、法学部での学びがつまらないものになってしまいます。

でも大丈夫！そんな「学問の迷い道」に入ってしまった学生の皆さんを助け、楽しい大学生活へと導いてくれるのが、法学部フェローです。法学部では、平成26年度からこの制度を導入し、フェローによる学生へのコンサルティングを通じて、学生の主体的な学びをサポートする仕組みを構築しています。例えば、講

義やテキストの内容でわからないところの質問に答えたり、答案やレポートの書き方を教えてくれたり、学生一人一人に合った勉強方法を考えてくれたりする、法学部でのあなたの学びを支える力強い味方です！

フェローの先生方は大学院博士課程に在籍または博士課程を修了した、研究の第一線で活躍されている方々ばかりです。また、学部学生の皆さんとも年齢が近いので、いろいろと相談しやすいと評判です。法科大学院を修了した先生もいらっしゃいますので、法曹を目指すあなたの進路についても相談することができます。

講義でわからないことあったときや勉強に行き詰まったとき、どんどんフェロー制度を利用してください。



フェローの主な担当紹介

(2024年4月現在)

月曜日

憲法・行政法
政治学

火曜日

刑事法
政治学

水曜日

刑事法
民事法

木曜日

憲法・行政法
民事法

金曜日

国際法
民事法

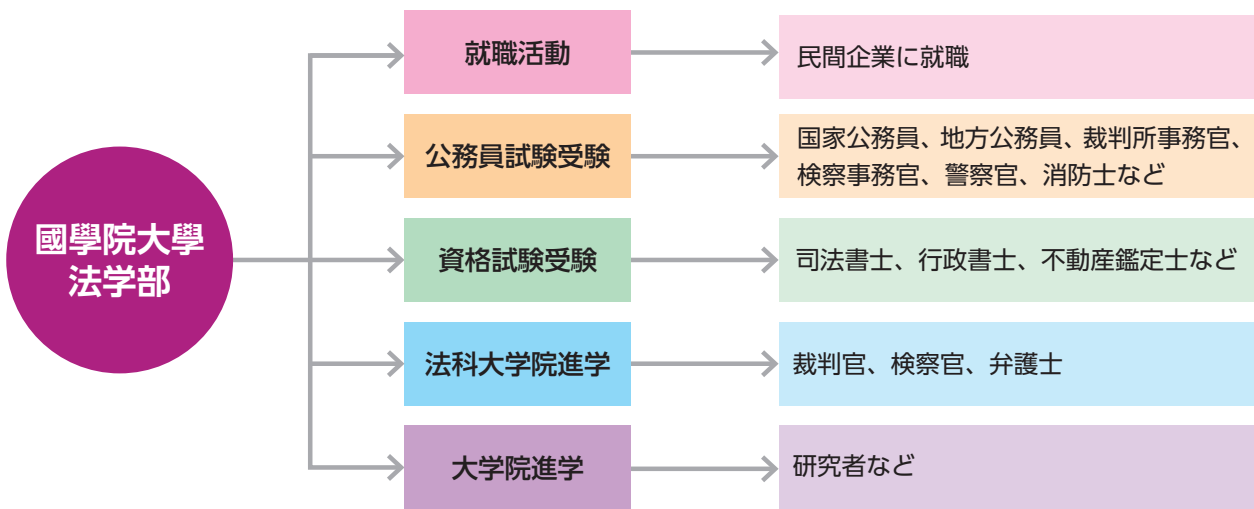
卒業後の進路

卒業した後を考えよう！

法学部生の卒業後の進路には、大きく分けると就職と進学の二つがあります。一口に「就職」といっても、①民間企業への就職、②官公庁・自治体・独立行政法人への就職(公務員)、③資格を取って実務に就く、といった色々なパターンがあります。また、進学については、法曹三者を目指して法科大学院を志望する学生は多いですが、研究を目的とする大学院(例えば、大

学院法学研究科)に進む学生も見られます。

いずれにしろ、4年間の学生生活の間にしっかり準備しておかないと夢を掴むのは難しくなります。以下では、様々な道に進まれた先輩方のアドバイスも掲載しています。是非参考に、1年次から社会との接点を持ち、卒業後の進路についても考えてみましょう。



民間企業に就職する

将来の進路で最も多いのは民間企業への就職です。民間企業への就職活動(いわゆる就活)の場合、特に人気企業には希望者が殺到しますし、そもそも多様な業種から自分にあった職場を選ぶのも大変です。そのような状況でも頑張っ内定を勝ち取った先輩からアドバイスをもらいましょう。

公務員として働く

安定した職種であるため、官公庁への就職は根強い人気を誇っています。しかし、「公務員」とはどのような職業なのでしょう？そして、どのようなやりがいを感じるができるのでしょうか？また、内定を勝ち取るためにはどのような対策が必要なのでしょう？各方面で活躍する先輩に聞いてみましょう。

資格取得で自己実現を図る

司法書士、行政書士、不動産鑑定士、社会保険労務士などの資格を得る道もあります。

法科大学院進学で法曹三者に

法曹三者(裁判官・検察官・弁護士)は法学部生にとってあこがれの職業です。しかし、そのためには、法科大学院に進学して法律をさらに究めた上で、司法試験に合格しなければなりません。この厳しくも有意義な道を進み始めた先輩からアドバイスをもらいましょう。

大学院進学で「もっと勉強する」

大学4年間だけでなく、もっと法律や政治を専門的に勉強したい、そんな求道者には研究を目的とする大学院への進学がお勧めです。ところで、大学院の勉強は学部の勉強とどう違うのでしょうか？また、どのような能力が求められるのでしょうか？大学院法学研究科に進学した先輩に聞いてみましょう。

民間企業に就職する

■ キャリアサポート－就職活動支援

就職活動を行う際には、しっかり準備した上で臨むことがきわめて重要です。就職活動が早期化していることから、大学に入学したらすぐに就職を意識しておく必要があります。國學院大學では、みなさんの希望する進路を実現するために、様々な就職活動支援を企

画しています。下記の表にあるように、ガイダンスやセミナー、卒業生や内定者との懇談会、大学内での会社説明会の開催など、就職活動を力強くサポートしていますので、入学後は是非気軽に参加してみてください。

■ 主なセミナー・ガイダンスの例

講 座 名	内 容
就活スタートガイダンス	就職活動の流れ、ポイントの説明。就職ナビサイトの登録。インターンシップ対策。
SPI非言語対策講座	早期から対策を進めることが成功のカギとなる筆記試験の非言語分野対策講座。
企業セミナー	各業界のリーディングカンパニーを招き、オンライン上で行われる企業説明会。
模擬面接指導会	企業の採用担当者が直接、みなさんの面接を指導。
学内合同企業説明会	本学学生にお勧めしたい優良企業を招き、学内やオンライン上で行われる企業説明会。
OBOG・内定者アドバイス会	大手優良企業・官公庁に勤務している卒業生や内定した4年生によるアドバイス会。

■ 就職活動サポートツール

企業大研究	本学独自取材で、各業界のリーディングカンパニーを紹介し、企業研究をサポートする冊子。
就活パーフェクト手帳	インターンシップの概要や就職活動の流れ、ポイント及び國學院大學の就活支援についてまとめた手帳。

● 法学部卒業生の主な民間企業就職先 (過去5年間)

建設業・機械・設備・自動車製造業…	清水建設 大成建設 東急建設 住友林業 積水ハウス 大和ハウス工業 関電工 ENEOS 住友金属鉱山 日本製鉄 古河電気工業 在原製作所 スズキ 日野自動車 アイリスオーヤマ オカムラ 沖電気工業 タカラスタンダード TOTO 富士通ゼネラル
食品・化学・医薬…	伊藤園 サッポロビール ニチレイフーズ プリマハム プルボン ポッカサッポロフード&ビバレッジ ヤクルト本社 山崎製パン ADEKA 杏林製薬 協和キリン 太平洋セメント 太陽日酸 日本ペイントホールディングス 富士紡ホールディングス
印刷・マスコミ…	毎日新聞社 産業経済新聞社 西日本新聞社 日本テレビ放送網 鹿児島読売テレビ テレビ朝日サービス TOPPAN 図書印刷 第一法規 ADKホールディングス 東急エージェンシー ジェイアール東日本企画 サイバーエージェント ディー・エヌ・イー USEN
商社・小売…	住商メタルックス ユアサ商事 三井食品 三菱食品 国分グループ本社 日本アクセス 東海澱粉 キヤノンシステムアンドサポート 三越伊勢丹 東急百貨店 東武百貨店 イオンリテール ニトリホールディングス セブン-イレブン・ジャパン ローソン 良品計画
不動産業…	大京 東急リパブル 三菱地所レジデンス 三井不動産リアルティ 住友不動産販売 三井住友トラスト不動産 野村不動産ソリューションズ 伊藤忠ハウジング みずほ不動産販売 スターツコーポレーション
銀行・証券等…	三菱UFJ銀行 三井住友銀行 みずほフィナンシャルグループ リソナホールディングス 三菱UFJ信託銀行 横浜銀行 千葉銀行 ゆうちょ銀行 野村證券 大和証券 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 みずほ証券 SMCBC日興証券
生保・損保・その他金融…	日本生命保険 第一生命保険 住友生命保険 明治安田生命保険 かんぽ生命保険 あいおいニッセイ同和損害保険 損害保険ジャパン アクサ損害保険 商工組合中央金庫 中央労働金庫 城南信用金庫 西武信用金庫 オリエントコーポレーション
運輸・通信・旅行・観光業…	東日本旅客鉄道(JR東日本) 東急電鉄 小田急電鉄 東京地下鉄 相模鉄道 日本通運 ロジスティード 郵船ロジスティクス 全日本空輸(ANA) 中日本高速道路 西武プリンス・ワールドワイド 日本郵便 NTT東日本・南関東 KDDI ソフトバンク
サービス…	楽天グループ ヤフー 日本アイ・ビー・エム 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン コナミホールディングス コロプラ ディー・エヌ・イー マイナビ 船井総合研究所 セコム 日本赤十字社 国立病院機構 日本年金機構 中小企業基盤整備機構

Message

キャリアサポート課からのメッセージ

「社会を知り、前向きな進路選択を」

國學院大學では、早期から自分の進路と向き合った主体的な学生生活を送れるよう、正課授業やインターンシップ関連企画、K-PLAS (KOKUGAKUIN Progressive Learning Assistive System)、学内資格講座、各種ガイダンス・セミナーなどを通じて、1年次からキャリア支援を行っています。

民間企業・公務員を志望する学生はキャリアサポート課を、教員を志望する学生は教職センターを、神職を目指す学生は神道研修事務課を積極的に活用しましょう。

例えば民間企業の就職に向けた取り組みでは、優良企業との接点を持てる企画や、企業などの内定を得た4年生が就活のアドバイスをする「内定者アドバイザー(写真)」など、就活や社会に出ることに対してポジティブなマインドをつくる仕掛けをたくさん用意しています。ぜひ積極的に活用してみましょう。



卒業生からのメッセージ



すみかわ かざね
澄川 風音 さん

法律専攻

就職先

野村不動産株式会社

「痴漢による被害があっても被害者は相談することができない」とニュースで見たことをきっかけに、被害者支援制度とはどういったものがあるのかを調べるようになりました。そこから法学部に入って犯罪体系を学びたいと思い、法律専攻を選択しました。

私が通っていた頃は、コロナウイルスの影響でオンライン授業でしたが、グループワークを通じながらその人が持っている価値観に触れることができ、少人数で対話を必要とする授業を中心に受講していました。

就職活動をしていくうちに、自分はいったい何の仕事をしたかと思っているんだろうと考えたことがあります。小学生から大学までを振り返った際に、高校時代の出来事からディベロッパー業界に興味を持ちました。

「地元じゃないけど、ここの街に毎週来ている」と近くのカフェで聞いたことをきっかけに、地元民だけでなく、訪れる人々に誇りを持てるような街づくりをしたいと思うようになりました。そこからディベロッパーを志望するようになり野村不動産に就職を決めました。

就職活動は、些細なことがきっかけになることがあります。日々の生活を大切に、人との関わりを大切に過ごしてください。頑張ってください！

私は選挙権が18歳に引き下げられたことをきっかけに選挙に行き政治に興味を持ったことから政治専攻を志望しました。

政治と言うととても堅苦しく学生の私たちには遠いもののように感じますがそんな事ではなく、基礎から学べる授業が多くあり皆が同じペースで学習出来たり、学科の人数が50人程度と少人数なので分からない所があっても質問しやすく、教授との距離も近いというアットホームな環境が整っていると感じます。

そして、グループになって議論する機会も多く多方面の意見を聞くことが出来ることから物事の視野が広がるという利点や、自分の意見を他人に分かりやすくかつ説得力を持たせながら伝えるという思考力が身に付くため社会に出て大変役に立つと思います。また、政治専攻の特色として2年生からゼミが始まるので早い段階で縦の繋がりが教授との交流が増え、就職活動の際には様々な情報やアドバイスを受けることが出来ます。

人生最後の学生生活が素敵で華やかなものになるように願っています。色々な事を経験し、思い出に残る4年間を送ってくださいね。



さとう かりん
佐藤 花梨 さん

政治専攻

就職先

株式会社横浜銀行

私は元々ニュースを見るのが好きだったため社会問題等に興味がありました。そんな中で社会学部ではなく國學院大学の法学部を選んだのは、社会制度やその背景にある概念をバランスよく学ぶことができると考えたためです。実際、講義では法律を暗記するのではなく、「なぜこの法律が必要なのか」という点を実際の事案を合わせて学ぶことが多いと感じました。

ゼミは佐古田真紀子先生の民事訴訟法ゼミに所属しました。佐古田ゼミでは年に一度、他大学の学生と討論する機会があるため、法律を学ぶだけでなく自身の実力を確認したり、意見が対立したときのコミュニケーション能力も身につけることができました。特に、ゼミで培った論理的・多角的に考える力は就職活動の際に活かすことができました。

最後に学生生活にとって最も大事なことは「面倒くさがらない」ことだと思います。勉強も遊びも意外と面倒くさいことが多いです。その上、逃げようと思えば逃げることも多々あります。ですが、興味を持ったものを一つ一つ経験していくことで、自分が本当にしたいことや好きなものなどの発見となり、今後の進路に繋がるので、ぜひ様々なことを試してみてください。



はらだ たかひろ
原田 敬大 さん

法律専攻

就職先

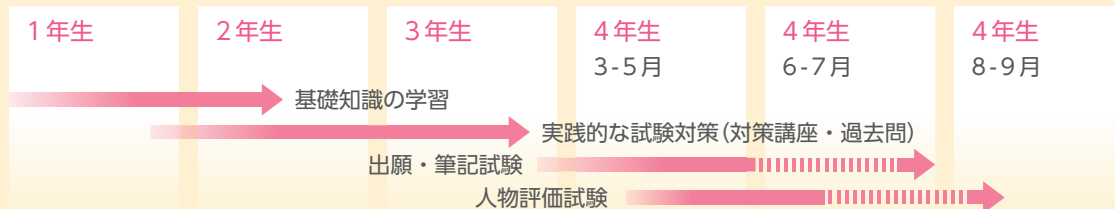
日本放送協会

公務員・教員を目指す

法学部生の間では「公務員・教員」は根強い人気を誇っています。ただ、一口に「公務員」と言っても様々な職種があります。例えば、国の機関で働く場合は「国家公務員」、地方自治体で働く場合は「地方公務員」と区別されますし、また、仕事の内容に応じて、総合職・一般職（事務職）、地方上級・中級といった違いがあります。その他、警察官や国税専門官、裁判所事務官といった特別な職種もあります。

それぞれの職種ごとに異なる採用試験が実施されていますので、自分の希望に即した対策を採る必要があります。また、「教員」になるためには免許状を取得して、採用試験に合格しなければなりません。いずれの場合でも、採用されるためには、難関な筆記試験を突破した上で人物評価試験（面接・集団討論・小論文等）を受けなければなりません。夢をかなえるためには、試験対策を早めに始めることが必要です。

公務員試験スケジュール



●主な公務員・教員就職先(過去5年間)

官庁・自治体…………… 総務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 出入国在留管理庁 特許庁 防衛装備庁 公正取引委員会
東京高等裁判所 衆議院事務局 東京国税局 埼玉労働局 東京都庁 神奈川県庁 埼玉県庁 千葉県庁
茨城県庁 栃木県庁 宮城県庁 静岡県庁 福岡県庁 東京特別区 横浜市役所 川崎市役所 さいたま市役所
千葉市役所 福岡市役所 防衛省・自衛隊 警視庁 皇室警察本部 海上保安庁

学校…………… 公立高等学校 私立高等学校 公立中学校 私立中高一貫校 他

■公務員試験・教員採用サポート体制

●PCAP(実践的キャリア開発プログラム)パブリックサービスキャリア・コース

パブリックサービスキャリア・コースでは、1年次からPCAPに登録することにより、公務員として求められる知識や公務員試験受験に必要な科目を1年次から4年次まで体系立てて学習することができ、修得した単位は卒業単位に算入されます。また、このコースには、官公庁や県庁・市役所等でのインターンシップへの挑戦や公務員試験に出題される論述対策のための実践的な科目も用意されています。

●K-PLAS 国家公務員総合職コース

国の中央省庁で働くキャリア官僚を目指すコースとして、学内やオンラインで提携予備校の講座を受講する難関試験突破プログラムK-PLAS(KOKUGAKUIN Progressive Learning Assistive System) 国家公務員総合職コースがあります。とくに、2年次後期に行われる選考試験を通過し奨学生に採用されれば、無償で講座を受講できる「国家公務員採用総合職試験支援奨学金制度」を用意しています。また、このコースは、中期目標として1年次前期から宅地建物取引士、1年次後期から2年次にかけて行政書士といった法律系の国家資格の取得を目指し、最終目標である国家公務員総合職に向けて無理なくステップアップして臨めるようにも工夫されています。

●学外の公務員合格コース

合格実績のある予備校と本学が提携していて、通常の価格よりも割安な価格で各公務員合格コースを受講することができます。コースには、2年次からの公務員試験のための基礎講座を学習する2年コースの外、3年次からの国家公務員・地方上級・市役所職員のための合格コースや警察官・消防官に備えたコースなどがあり、希望に応じて選択できます。模擬試験や面接対策なども含まれます。

●本学には「教職課程・教職センター」があり、教員就職支援を行っています。

卒業生からのメッセージ

私は、法律に関する知識や法的思考力を身につけたいと思い、法律専攻を選択しました。

授業では、専門的な内容に慣れるまで苦勞しましたが、授業後の復習に力を入れ、なんとか食らいつきました。ゼミ(演習)では、労働法についての学びを深めました。意欲の高い仲間とともに切磋琢磨する環境に身を置くことができ、一回一回の発表に大きな熱量を持って取り組んだことは良い思い出です。

2年次に入り、卒業後の進路についても徐々に考えるようになりました。元より公務員になりたいという思いがありましたが、具体的な就活についてはぼんやりとしていました。そのようななかで、大学からのメールでK-PLASの存在を知り、学内で公務員試験対策ができるならと応募したことが、大きな転換期となったと思っています。K-PLASでは、担当の先生による手厚いサポートを受けながら、公務員試験を駆け抜けました。特に面接対策では、私自身の良さを活かすためのアドバイスを得られたことが自信に繋がりました。

高校生の皆さんには、大学での活動一つ一つに高い意欲で取り組んでほしいと思います。大学では様々な経験の場が整っているからこそ、意欲を持って、多くのものに目を向けてみてほしいです。皆さんにとって大学が、将来の選択肢を広げるための良い環境になるとよいなと思っています。



もがみ かなう
最上 奏羽 さん

法律専攻

就職先

消費者庁(国家公務員総合職)



はらぐち ゆうき
原口 祐熙 さん

法律専門職専攻

就職先

東京都庁

将来、法の力で困っている人を助けられるようになりたいと思い、法学部を志しました。その中でも、法律学の基礎から実務を見据えた応用的なことまで幅広く学ぶことができる点に魅力を感じ、法律専門職専攻に進学しました。

本専攻は必修科目が多く、レポート提出やテスト勉強に追われて苦勞することもありました。しかし、授業やゼミナールで出会った法曹三者を目指す志の高い仲間や些細な疑問にも丁寧に対応してくださる先生方のおかげで根気強く法律の学習に取り組むことができました。

就職活動では、本専攻の先輩の話を聞いて「公務員」という職業に興味を持ち、本学の奨学金制度を活用しつつ試験勉強に励みました。そして、塾講師のアルバイトにおける不登校生徒の指導経験から困難な環境にある子どもに対する支援の必要性を強く感じ、法律の専門知識を活かして組織横断的に子ども政策に携わることができる東京都に就職を決めました。

本専攻は、法に携わる仕事に就きたい人にとって最適な環境が整っています。高校生の方は入試対策で大変だと思いますが、将来のことを真剣に考えて悔いのない進路選択をしてほしいです。応援しています！

法科大学院・大学院法学研究科に進学する

■法曹三者とは？

法学部への進学を希望するみなさんの中には、将来、大学で身につけた法律の知識を活かせる仕事に就きたいと思う人も多いのではないのでしょうか。このような「法律専門職」として代表的なのは、いわゆる「法曹三者」と呼ばれる職業（裁判官、検察官、弁護士）です。それぞれ役割が異なりますが、いずれも法にもとづく正義を実現するための職業です。

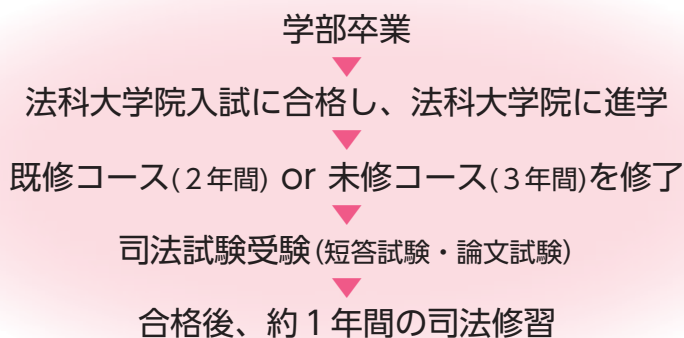
法曹三者になるためには、国家試験である司法試験に合格する必要がありますが、この司法試験の受験資

格を得るためには、大学で学部を卒業した後、原則として法科大学院（ロースクール）に進学して一定の成績をおさめなければなりません。

法曹三者になるまでの道のりは長くて険しいですが、法律の知識を活かして正義のために貢献できるのは法曹三者の魅力でもあります。みなさんも法学部（特に、法律専門職専攻）で切磋琢磨して法曹三者をめざしてみませんか？

■合格までのみちのり

國學院大學法学部では、一定の条件を満たすことで可能となる3年次卒業制度を利用して、他大学の法科大学院に進学することができます。



※在学中にも、一定の条件を満たすことで司法試験の受験資格が得られます。

●卒業生の合格実績（過去5年間）

東京大学法科大学院	京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻
千葉大学大学院専門法務研究科	東京都立大学法科大学院
法科大学院……………早稲田大学大学院法務研究科	上智大学法科大学院
中央大学法科大学院	明治大学法科大学院
専修大学法科大学院	

■大学院法学研究科での学び

國學院大學は、法学・政治学をより深く勉強する組織として、「大学院法学研究科」を設置しています（※法学研究科は、法曹三者養成のための「法科大学院」とは異なりますので、注意してください）。法学研究科は、博士前期課程（修士課程）2年と博士後期課程（博士課程）3年です。

通常、大学院への進学は卒業することを進学の条件としますが、本学の法学研究科では、一定の条件を満たすと、学部3年終了後に博士前期課程に進学することができます。また、國學院大學出身者の場合、学部時代の成績が優秀であることを証明すれば、さらに進学しやすくなっています。

卒業生からのメッセージ



ふじい みつき
藤井 美月 さん

法律専門職専攻

進学先

中央大学法科大学院

國學院の法学部には、複数専攻が存在します。私の中で法律専門職専攻を選択したのは、法曹を目指す上でしっかりした環境が整っていると考えたためです。

法律専門職専攻は非常に少人数で、クラスの人たちと顔見知りになりやすい環境でした。そして必修の講義が多く、1～2年次は法律の基礎知識を効率よく学ぶことができたと思います。同じ講義をとっている人がたくさんいるので、周りと相談もしやすく、また、少人数授業という関係上教授にも相談がしやすかったです。

私はサークルに所属していたのですが、サークルでは、講義より踏み込んだ法律の問題や、司法試験に向けての勉強を行っていました。

このように、法律専門職専攻においては、自主的に学ぶ環境が多く、周囲の人もしっかりと司法試験やロースクール受験、公務員試験を見据えた人が多かったので、切磋琢磨することができました。はっきりした目標を持って、努力できる同級生に恵まれることができるのが、法律専門職専攻の魅力の一つだと思います。

私は、入学当初からロースクールへの進学を考えていました。ロースクール受験に向けての勉強は、苦しいことはたくさんありましたが、周囲の人が頑張っている姿を見て、私も最後まで頑張り切ることができました。また、先生方も親身になって指導してくださりました。法律専門職専攻は、ロースクールを目指す上で非常に恵まれた環境だったと思います。

法律専門職は、法曹、公務員等、法律の知識が欠かせない職を目標としている人には、魅力的な環境です。ぜひ、法律専門職専攻で、法律を学んでみてはいかがでしょうか？

私が政治専攻を志望した理由は、元来政治に興味を持っていたからです。中学、高校の頃から歴史が好きでよく勉強していたのですが、そうした中で、歴史上の動きに各地域の政治が深く関わっていることに気づきました。政治は人々の命運を大きく揺るがすダイナミズムを持っています。大学で何を学びたいかと考えたとき、そうしたダイナミズムの一端に触れてみたいと強く感じたのです。

在学当初はちょうど感染症に見舞われた時期でありましたが、大学の皆様のサポートにより、学びを深めることが出来ました。大学に本格的に通えるようになってからは、より楽しい大学生活を送ることが出来ました。大学では履修選択にはかなり自由が利くため、学びたい気持ち次第で知識を深めることが出来ます。私の場合、政治学の他にも中央アジアの歴史等の世界史や中世日本史、国際的な平和学、法学、経済学、経営学の科目も履修していました。また政治専攻では2年次からゼミがスタートします。私はこのゼミで共に支え合う仲間達と出会うことができました。ゼミは少人数なため、先生方とも近い関係を築きやすいと思います。

進路についてはとても悩みましたが、先生や周囲に相談するなどした結果、大学での学びを踏まえて、より日本政治史について勉強したいという思いを強く持ったため、大学院への進学を決めました。

政治専攻では、政治について様々な角度から学べる環境が用意されています。また他の学問分野についても学ぶことが出来ます。卒業生としては、政治専攻は皆様に自信をもっておすすめできると考えています。志願される方々には、ぜひとも気持ちを強く持って受験対策を頑張ってくださいと思います。



たなか こうた
田中 幸多 さん

政治専攻

進学先

國學院大學大学院法学研究科

[対談]

ルールの変革を通して 社会をより良くしたい

—大学での学びがきっかけで研究者の道へ

大学での学びの中で研究の面白さを知り、研究者として活躍されている先輩がいます。法学部生時代からの研究についてお話をお聞きしました。

中川先生：大角さんは國學院大學法学部を卒業後、大学院に進まれて博士号を取得。現在愛知学院大学に勤めていらっしゃるんですよね。大学入学時から研究者を目指していたのでしょうか。

大角さん：大学入学時には中学校・高校の教員になりたいと思っていました。中川先生の裁判法A（現在の名称は刑事手続法概論）と刑事訴訟法の授業を受けたことが研究者になろうと思ったきっかけです。緻密に練られた法学の理論がパズルのように面白いと感じ、これを仕事にしたいと思うようになりました。そして、裁判傍聴に行ったことが大きな決め手となりました。傍聴席に被告人の家族がいたのですが、久しぶりに対面できて安堵しているように見えました。身体拘束をすることで、家族や社会との関係性が崩れてしまう。このような状況で裁判をすることは正しいことなのかと疑問を持ちました。刑事訴訟法というルール自体に問題があるのならば、研究者として解決すべき課題だと思いました。

中川先生：社会を変革したいという想いで、弁護士を目指される方もいると思います。弁護士ではなく研究者を目指したのはどうしてでしょうか。

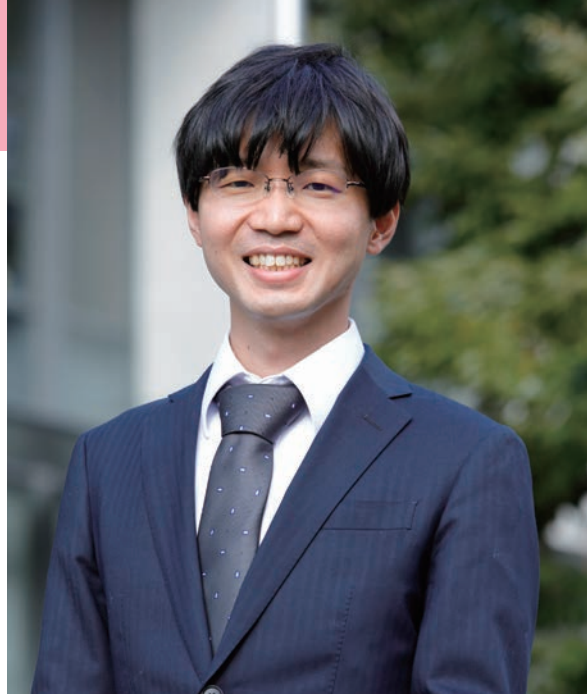
大角さん：一つ一つの事件の解決も重要ですが、問題を生じさせているルールそのものを変えていきたいと思ったからです。

中川先生：大学での勉強はいかがでしたか。

大角さん：中川先生が、図書館に行くことを勧めてくれたので、1年生から図書館に行く癖はついており、課題の論文等は図書館で色々調べながら書いていました。高校生までの勉強と異なり、答えがないものを自分で探っていくところに面白さを感じていました。先程お話をさせていただいたように、裁判傍聴で身体拘束について興味を持ったので、ゼミでは身体拘束をテーマに研究を進めました。自分の中で、社会はこのように動いているのではないかという仮説を立て、その仮説の中でどのようにルールを変えたらより良い社会になるのかを考える。これを説得力のある文章として書くことは、作品を作っている感覚に近いものがあり、楽しんで進められました。その一方で、執筆した論文は誰かに読まれて評価されるので、その評価を受け止めなければならぬところに大変さを感じました。

中川先生：ゼミ論文は法学部内の論文コンテストで最優秀賞を受賞されていますね。おめでとうございます。

大角さん：ありがとうございます。最近読み直してみたのですが、例えばホームレスになっている方を身体拘束する際、無条件で拘束して良いのだろうか。一旦住居を提供して、拒否された場合に住居不要件が満たされるべきだということのように、いわゆる比例原則の適用をより具体的に検討しています。この考え方が、今行っている法と経済学的な分析に繋がっていると思っています。



おおかど ようへい
大角 洋平 さん

Profile

國學院大學法学部2014年卒業（法律専攻）
勤務先：愛知学院大学

中川先生：法学部生時代の論文が原点にあり、現在に繋がっているのですね。大学院の入試について教えてください。

大角さん：何を研究するのか、どのように研究を進めていくのかという目的と計画の部分が第一に問われることとなります。もう一つは、語学・専門に関する知識が問われます。自分が専門とする分野について、必要な知識と遂行能力を示すことができれば合格できると思います。法学研究では比較法で海外の法律を見ていくので、語学が必要になります。英語に関しては、高校までの英文法をもう一度やり直すところから始めました。面接では、弁護士や政治家ではなく何故研究者を目指すのかが明確かどうか、そして熱意を問われました。

中川先生：大学院ではどのような研究をされましたか。

大角さん：修士課程の2年間では、自分が研究したいテーマについてもう一度見直す作業をしました。私はアメリカ法を選択したので、アメリカの論文をひたすら読んで見解を高めていきました。勉強方法自体は基本的に大学時代と変わりませんでしたが、量と幅がとて広がりました。修士論文のテーマは「黙秘権の不利益推認」にしました。不利益推認というのは、この人は犯人だから黙秘したんだというように、黙秘したことを被告人の不利益になる証拠として使うことです。

博士後期課程の3年間は黙秘権の機能的分析に取り組みました。黙秘権は何故存在しているのかを言語学や経済学、アメリカの歴史など様々な分野を網羅的に見て検証することを行いました。博士論文のエッセンスと発展的な部分を少し足して、判例時報の論文コンテストに応募しました。

中川先生：特別賞を受賞されましたね。最後にメッセージはありますか。

大角さん：研究者というと才能がある人だけがなれる職業というイメージを持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、コツコツ努力を積み重ねられる人は向いていると思います。毎日語学の勉強をする。本を読む。文章を書く。1つ1つは誰にでもできることですが、そうした日々の小さな蓄積こそが才能よりも重要だと思います。研究はやりがいがあり、面白いです。才能がないと諦めずに、ぜひ一つの選択肢として考えて欲しいと思います。

法律研究会での出会いが、 法曹への道を開きました

——まず初めに法曹をめざしたきっかけを教えてください。

私は、高校生のとき「政治・経済」の授業がすごく好きだったんです。社会のルールや仕組みを知ることが純粋に楽しかったんですね。そうした経緯から高校生のときに「大学では法律を学びたい！ どうせ法学部に入るなら法曹を目指してみたい！」と思ったのが、法曹を目指した最初のきっかけだったと思います。そのため、大学進学に際しては、法学部への進学しか考えていませんでした。國學院大學法学部の法律専門職専攻を選んだのも、まさにそういった動機によるところが大きいです。

もっとも、本腰を入れて法科大学院入試・司法試験への勉強を始めたのは、学部と同級生に誘われて入った「法律研究会」での出会いによるところがすごく大きかったと思います。私の人生のターニングポイントの1つですね。

——法律研究会での出会いとはどのようなものだったのですか。

法律研究会は、法科大学院入試や司法試験予備試験、公務員試験への合格を目指す学生が集う学内の公認サークルで、各試験の過去問演習などを中心に活動しているところです。

私は2年生の夏に入会したのですが、そこで、その年に法科大学院入試に合格し、3年次卒業を予定していた先輩と出会いました。その先輩から、3年次卒業制度のことも含め、合格までの体験談や実践的なアドバイスをいただけたことで、「この道筋なら私も立ち向かえるかも！」と思うことができ、やっと本腰を入れて法科大学院入試への勉強を始めることができたのです。

また、志を同じくする仲間たちと出会い、活動を通じて日々切磋琢磨できたことも、勉強のモチベーションになりました。法律研究会で出来た人間関係は私にとって一生の宝物です。

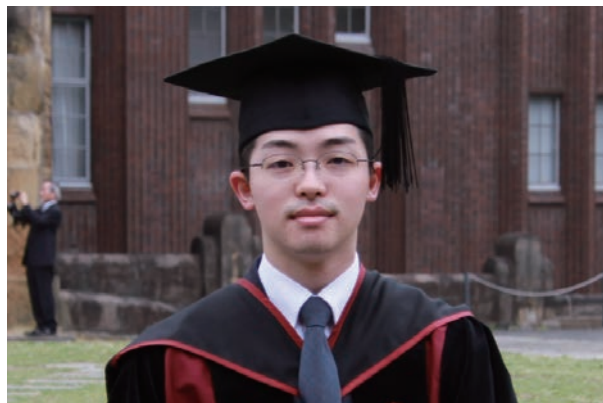
——3年次卒業制度を利用しようと考え始めたのも、その頃からだったのですか。

3年次卒業という制度があるのは、大学に入学した当初から履修要綱を読んで知っていたのですが、本腰を入れて制度を活用しようと決意したのは、やはり法律研究会に入会してからで、実際に3年次卒業制度を利用する先輩と出会ったのが大きかったですね。あの時点で、3年次卒業制度を利用するという選択ができるくらいの成績をキープできていて本当に良かったです。3年次卒業制度を利用したことで、通常よりも早い時期に法科大学院入試や司法試験にチャレンジできましたが、その点がこの制度のメリットだと感じました。

基礎からの徹底教育が、 法曹への道を常に支えてくれました

——法律専門職専攻での学びは、法科大学院や司法試験に役立ちましたか。

大いに役に立ちました。法律専門職専攻では、1・2年次という早い段階から、憲法や民法や行政法を始めとする法律基本科目を網羅的に学修することになるのですが、カリキュラムに従って必死に各授業に食らいついていった結果、知らず知らずのうちに、法科大



あかま たいせい
赤間 大晟 さん

Profile

國學院大學法学部2021年卒業(法律専門職専攻・3年次卒業)
東京大学法科大学院2023年修了
司法試験合格2023年12月

学院入試や司法試験に必要な知識の基礎固めができていました。そうしたカリキュラムだったこともあり、3年次卒業制度を利用して法科大学院に進学しても、学修面において周囲との差は全く感じませんでした。

かなりハードな学生生活でしたが、あのととき培った法学の基礎は、法科大学院入試から司法試験に合格した現在に至るまで、私をずっと下支えしてくれていたと思います。

——法律専門職専攻で、特に印象に残っている授業について教えてください。

例えば、中川孝博先生の刑事手続法概論や刑事訴訟法でしょうか。

先ほど述べたように、法律専門職専攻では、1・2年次という早い段階から法律基本科目を網羅的に学修するカリキュラムが組まれているため、どの基礎科目も、基本的に知識のインプットに注力する授業内容となることが多いのですが、中川先生は、知識のインプットだけでなく、法律書面や論述の書き方といった知識のアウトプットという点に関しても大きく時間と労力を割いて指導してくれました。

法的三段論法といった法律文章に必要な基本的「作法」は、中川先生の授業で叩き込まれたといっても過言ではありません。それだけに、授業課題もしっかり出されるので、当時は我々学生側もかなり大変でしたが(笑)。それも今となっては良い思い出です。

皆さんも、ぜひ法曹の道へ

——最後に受験生に向けてメッセージをお願いします。

大学入試が5教科7科目の世界だとすれば、司法試験は、いわば1教科8科目のようなものです。すなわち、英語が苦手でも、数学が苦手でも、法学という1教科さえ修得すれば、法曹への道を開くことができると私は思っています。

そして、國學院大學法学部には、それを実現するための環境が整っています。特に、知的好奇心が旺盛で、自分の興味のある分野には徹底的にのめり込むことができ、かつ社会のルールや仕組みに興味関心がある人は、適正バッチリです。

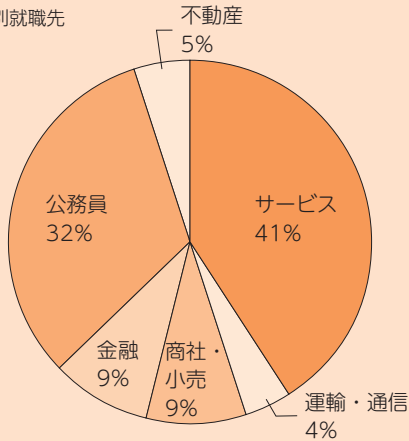
皆さんも、ぜひ國學院大學に進学し、法曹の道へ進んでみませんか。

卒業生の進路状況

進路の一例 令和3年～令和5年卒業生

法律専門職専攻

令和5年業種別就職先



公務員・教員就職先(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

神奈川県庁／埼玉県庁／千葉県庁／品川区役所／横浜市役所／茅ヶ崎市役所／松戸市役所／勝浦市役所／厚生労働省／経済産業省／関東信越国税局／東京出入国在留管理局／防衛省・航空自衛隊／神奈川県警察本部

一般企業(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

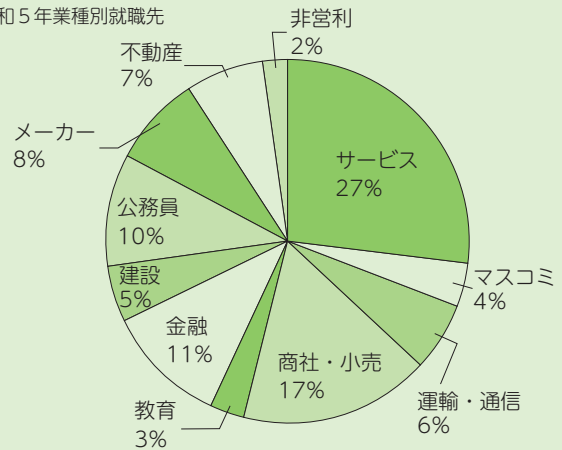
オリエントコーポレーション／キャノンシステムアンドサポート／西武・プリンスホテルズワールドワイド／セコム／セブンイレブン・ジャパン／全国信用協同組合連合会／太平洋セメント／東京信用金庫／北海道旅客鉄道／横浜銀行／ヨドバシカメラ

法科大学院進学先(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

千葉大学法科大学院／早稲田大学大学院法務研究科／大阪大学法科大学院／中央大学法科大学院／東京大学法科大学院／明治大学法科大学院／東京都立大学法科大学院

法律専攻

令和5年業種別就職先



一般企業(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

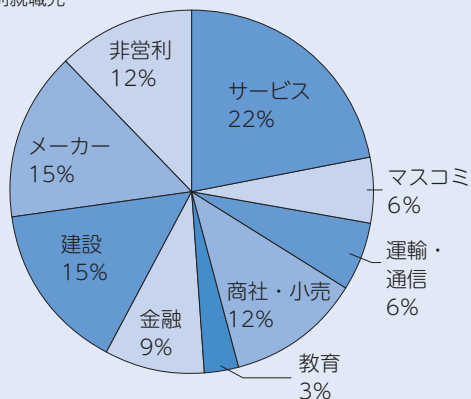
あいおいニッセイ同和損害保険／ADKホールディングス／SMBC日興証券／ENEOS／オカムラ／関電工／協和キリン／KDDI／国分グループ本社／シスコシステムズ合同会社／清水建設／商工組合中央金庫／スズキ／住友生命保険相互会社／全日本空輸／ソフトバンク／第一生命保険／大成建設／大和証券／タカラスタンダード／東急リバブル／東京地下鉄／トーハン／日本アクセス／日本製鉄／日本生命保険相互会社／日本テレビ放送網／野村證券／毎日新聞社／みずほフィナンシャルグループ／三井食品／三越伊勢丹／明治安田生命保険相互会社／ヤクルト本社／ヤフー／山崎製パン／郵船ロジスティクス

公務員・教員就職先(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

埼玉県庁／茨城県庁／栃木県庁／静岡県庁／山形県庁／港区役所／文京区役所／台東区役所／墨田区役所／江東区役所／目黒区役所／大田区役所／世田谷区役所／渋谷区役所／杉並区役所／荒川区役所／練馬区役所／足立区役所／葛飾区役所／横浜市役所／川崎市／さいたま市役所／千葉市役所／総務省／経済産業省／国土交通省／防衛装備庁／東京国税局／東京地方裁判所／横浜地方裁判所／前橋地方裁判所／東京税関／関東信越国税局／広島国税局／埼玉労働局／小田原労働基準監督署／皇室警察本部／防衛省・海上自衛隊／防衛省・陸上自衛隊／警視庁／神奈川県警察本部／埼玉県警察本部／千葉県警察本部／海上保安庁／東京消防庁／横浜市消防局／さいたま市消防局

政治専攻

令和5年業種別就職先



一般企業(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

アイリスオーヤマ／ADEKA／関電工／京葉銀行／KDDI／産業経済新聞社／三和シャッター工業／城北信用金庫／住友生命保険相互会社／ソフトバンク／第一生命保険／タカラスタンダード／東京電力ホールディングス／TOPPAN／日本酒類販売／日本生命保険相互会社／日本年金機構／日本郵便／富士ソフト／古河電気工業／ポッカサッポロフード&ビバレッジ／みずほ証券／三井住友信託銀行／横浜信用金庫

公務員・教員就職先(令和3年(2021年)-令和5年(2023年))

東京都庁／埼玉県庁／宮城県庁／新宿区役所／江東区役所／世田谷区役所／渋谷区役所／葛飾区役所／江戸川区役所／八王子市役所／千葉県警察本部

入試制度について

入学試験……多様な入試制度

法学部では、様々な能力を有する学生を幅広く集めるために、多様な入試の制度を設けています。

アドミッション・ポリシー…法学部が求める学生

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため本学部は、本学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、本学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

●求める人材、期待される入学者像 ……とくに次のような人材を求めています。

法律専門職専攻

- 法律の専門的知識を活かす職業に就くことを目指しており、それに必要な基礎学力を持つ者

法律専攻

- 法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者

政治専攻

- 政治に関心を有し、将来政治に関する職業に就くことを目指す者、または、「よき市民」として政治に積極的に関わる意欲を持つ者

法学部の入試の種類と日程

11月中旬 公募制自己推薦(AO型)・学士入学・一般編入学

11月下旬 指定校推薦・外国人留学生

1月中旬 V 方式(大学入学共通テスト利用型)

2月上旬 A 日程(3教科型・最高得点科目重視型・学部学科特色型
／英語外部試験利用型)

2月下旬 法学部特別選考

3月上旬 B 日程(2教科型)



・募集人員 法律専門職専攻50名、法律専攻397名、政治専攻53名 (参考：2023年度募集人員)

◆2024年度オープン・キャンパス日程

オープン・キャンパスにおける法学部の企画は全て渋谷キャンパスで行います。

8月3日(土)・8月4日(日)・8月24日(土)

※詳細については、國學院大学のホームページをご覧ください。

AO型・V方式・A日程入試・法学部特別選考のアドバイス

◆AO型

- 例年、多くの受験生が ALT レポートの作成に苦労されます。確かに大変ですが、このレポートをしっかり仕上げられるということは、大学の授業で課される様々なレポートや答案の書き方ができているということです。みなさんの苦労は、入学後に必ず報われます！
- 令和 5 年度の法律専攻を例にとると、募集人員は 26 名でしたが、最終合格者は 43 名でした。私たちが合格のレベルに達していると判断したのに、一点刻みで不合格にするということはありません。ご安心ください！
- 令和 7 年度入試より、法律専門職専攻の AO 型入試を開始します。法律を使った仕事を志しているという方は、ぜひ受験を検討して下さい！

◆V方式

- V 方式は法学部の他専攻や、他学部他学科と併願可能です。併願される場合には、受験料割引制度が適用されます。詳しくは一般入学試験要項（受験ガイド）をご覧ください。

◆A日程

- A 日程の入試は、3 専攻全て、3 日間実施されます。募集割合は原則 3 日間均等ですが、志願者数によって調整が行われることがあります。したがって、受験する日によって有利・不利ということはありません。お好きな試験日をお選びください。
- 3 日間とも、素点ではなく偏差値で判定されます。例えば、選択科目で科目により平均点に差が出たとしても、それによって有利不利の差はつかないようにになっています。
- A 日程 2 日目の入試は、「最高得点科目重視型」で、最高成績の科目を 2 倍に換算して判定されます。得意科目があるという方は、積極的にチャレンジして下さい。
- A 日程 3 日目には、令和 7 年度入試より、学部学科特色型とともに英語外部試験利用型が導入されます。
- 学部学科特色型は、3 教科を受験し、そのうち上位 2 科目の偏差値合計で判定するという方式です。この判定方式は、例えば当日ひとつの科目でミスをしてしまったという場合や、不得意科目があるという場合でも、不利にならない方式です。ぜひチャレンジして下さい。
- 英語外部試験利用型は、外部の英語検定試験で一定以上の成績をおさめることを出願要件とし、選択科目と国語の 2 科目で合否を判定する方式です。その際、2 科目中でより成績の高かったものを 2 倍に換算してもう一つの科目と合わせ、合否を判定します。
- 学部学科特色型と英語外部試験利用型の両方を受験することはできません。どちらか自分に向いていると思った方式を選んで受験して下さい。

◆法学部特別選考にもご注目ください！

- 法学部特別選考は、法律学・政治学に強い関心を持ち、その勉学に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲がある方を対象とする入試方式です。この入試では、①みなさんが受験された V 方式または A 日程の点数、②エントリーシート、③高校の調査書の内容、を総合評価して合否を判定します。したがって、V 方式または A 日程で不合格となっても、この「法学部特別選考」では合格となることがあります。國學院大學法学部を目指す強い意志を持つ方は、V 方式または A 日程を受験のうえ、ぜひこの入試にもチャレンジしてください。

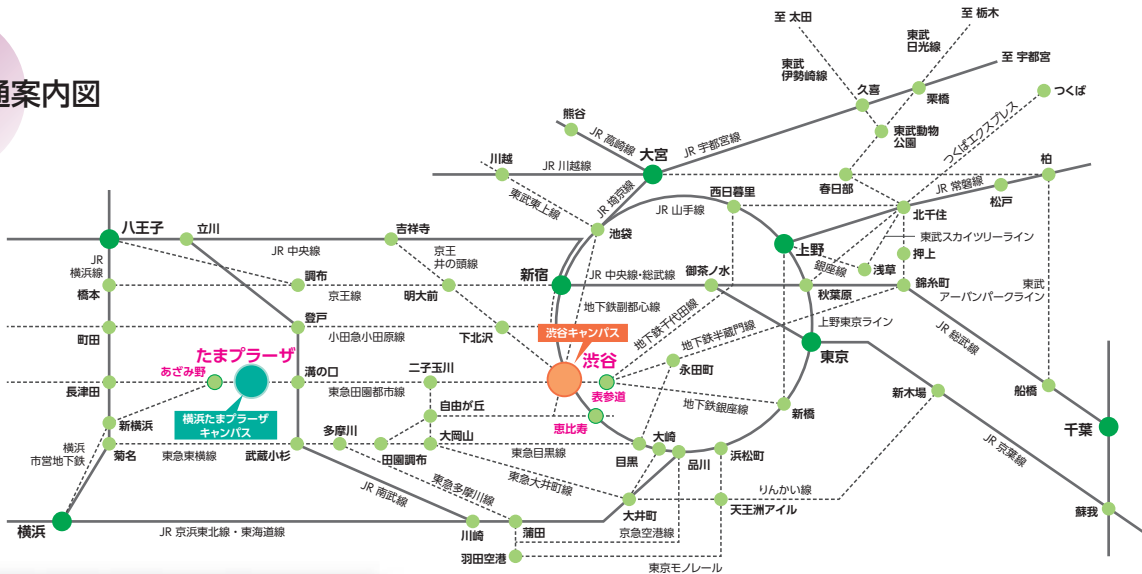
◆國學院大學法学部の魅力をあらためてご確認ください！

- 以上、受験を考えているみなさんに安心していただくためにいくつかのアドバイスをしてきました。高い就職率、夢をかなえている先輩たちの声・・・國學院大學法学部に積極的にチャレンジしよう！と思っただけの情報がたくさんあったと思います。どうか、積極的な気持ちで受験に臨んでください！

◆複数回受験のすすめ

- 前述のように、V 方式では他専攻や他学部他学科との併願が可能です。A・B 日程では、受験日が重ならない限り、異なる専攻を併願して受験することや、一つの専攻を複数回受験することが可能です。そして法学部特別選考は、V 方式または A 日程を受験される（た）方が受験できます。複数の受験機会がありますので、1 つの試験で失敗したとしても他の試験で再挑戦でき、それにより合格を手に入れた方は結構いるのです。みなさんもぜひ、がんばってください。応援しています！
- 受験生のみなさんを支援すべく、複数回受験される場合には受験料割引制度をご用意しております。詳しくは一般入学試験要項（受験ガイド）をご覧ください。

交通案内図



渋谷キャンパスへの行き方

渋谷駅から

徒歩 JR(山手線)、東京メトロ(銀座線・半蔵門線・副都心線)、東急電鉄(東横線・田園都市線)、京王電鉄井の頭線から徒歩約13分
JR埼京線・湘南新宿ライン 新南口から徒歩10分

バス 都営バス(東口バスターミナル54番のりば学03日赤医療センター行)「国学院大学前」下車【所要時間約10分】

表参道駅から

徒歩 東京メトロ(銀座線・半蔵門線・千代田線)から徒歩約15分

恵比寿駅から

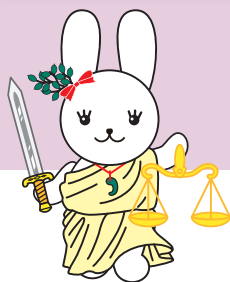
徒歩 JR(山手線・湘南新宿ライン)、東京メトロ(日比谷線)から徒歩約15分

バス 都営バス(西口ロータリー1番のりば学06日赤医療センター行)「東四丁目」下車【所要時間約10分】



法学部ホームページの紹介

国学院大学法学部ホームページ(HP)では、入試に関する情報や授業に関する情報を随時載せていきます。本学法学部のことをもっと知りたい方は、一度のぞいてみてください。



「こくぴょん 法学部バージョン」

ローマ神話に登場する正義の女神ユスティティア。左手の秤は衡平を量るもの、右手の剣は不正と闘うためのもの。まさに世界の平和と秩序を守り、正義を実現するシンボルです

KOKUGAKUIN UNIVERSITY
Faculty of Law

もっと日本を。もっと世界へ。

国学院大学

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-0141(入学課)



<https://www.kokugakuin.ac.jp/law/>